

平成24年度

- 環境保全功労者
- 地域環境保全功労者
- 地域環境美化功績者

功績内容等

環境保全功労者功績内容等

氏名・年齢・住所・職業	功 績
磯部 力 いそべ つとむ 國學院大學法科大学院教授	<p>磯部氏は、東京都立大学に奉職し、同大学にて助教授、教授を約30年間に亘って歴任された。その後、立教大学法学部教授、平成22年には國學院大學法科大学院教授に就任されて現在に至っている。</p> <p>平成13年の省庁再編により環境省が設置されたことに伴い従来からの審議会も改編されたが、氏は当初から中央環境審議会委員に就任され、行政法分野の学究的立場から一貫して自然環境局関係の3部会（自然環境、野生生物、動物愛護）に所属され自然環境行政の推進に多大な貢献をされている。</p> <p>平成22年10月、我が国で開催された生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）では、生物多様性に関する2011年以降の世界目標となる愛知目標やABS（遺伝資源へのアクセスと利益配分）に関する名古屋議定書などが採択された。これを受けて現在、中央環境審議会自然環境・野生生物合同部会においては、愛知目標の達成に向けた我が国のロードマップの作成など、COP10の結果等を踏まえた生物多様性国家戦略の改定を行おうとしている。国家戦略は今回で5回目の改定となるが、磯部氏は行政法制度等の観点から専門的なご意見を述べられるなど顕著な貢献をされている。</p> <p>外来生物による生態系や人の生命・身体、農林水産業に係る被害の防止を目的とした外来生物法に基づく、外来種対策を着実に実施するための基本方針の策定においては、事前に中央環境審議会野生生物部会でご議論をいただいたが、磯部氏は行政法制度等の観点から専門的なご意見を述べられるなど多大な貢献をされている。</p> <p>平成22年8月から中央環境審議会動物愛護部会の下に設置された動物愛護管理のあり方検討小委員会の委員として、動物愛護管理法の見直しについての提言をいただいた。小委員会では計25回にわたる会議にご出席いただくとともに、行政法制度等の観点から貴重な意見等を述べられなど多大な貢献をされている。</p>
黒谷 静佳 くらたに しずか 特定非営利活動法人 環境カウンセラー会 ひょうご理事	<p>1. 平成8年「環境家計簿全国大会in神戸」に出場し、我が家の省エネ行動・待機電力カット・エコドライブ行動などをデータ化して発表。</p> <p>平成7年からは「こどもエコクラブ」の活動として、土づくりから栽培、収穫、エコクッキングと、食育を通じた年間活動を展開し、平成9年に「こどもエコクラブ全国大会」において兵庫県代表として取組を発表している。また、同活動の神戸市児童館事業プログラム化にも寄与し、神戸市の環境教育に大きく貢献したほか、1万人以上へ環境保全の必要性を伝えることが評価された。</p> <p>2. 平成15年に環境カウンセラー資格を取得。活動の場を広げるため兵庫県、神戸市の生涯学習環境部門講師として登録。</p> <p>神戸市立公民館5館において春・秋季講座として「環境講座・サマースクール（親子）事業」に精力的に貢献し、モノ作り等の体験を通じた講座を年1館12日のプログラムを実施。環境教育の地域活動として評価が高い。</p> <p>また、兵庫県の「ひょうご出前環境教室」におけるエコ講座プログラムにおいては、年間約25件の講師依頼に協力しているなど、地元の地方公共団体の取組に幅広く貢献し、兵庫県西宮市、尼崎市、明石市等周辺自治体にも波及効果を及ぼしている。</p> <p>平成21年度からは神戸市環境局資源循環部減量リサイクル課と協働し、生ごみの減量化・資源化の段ボールコンポストの普及啓発活動を展開し、市民へ実践しやすい地球温暖化防止活動としてノウハウを伝えるとともに、市民の意識改革やライフスタイル転換のきっかけ作りに大きく貢献しており、この成果は加古川市、赤穂市、西脇市等周辺市町村でも評価され波及しているところ。</p> <p>このほか、神戸市内の環境イベントのプログラムなどに関して、神戸市へ提案を行うなど、市の環境活動に大きく貢献してきた。</p> <p>こうした活動は環境保全活動に取り組みもうとする市民団体や事業者に対して知識の付与や助言・指導を行う環境カウンセラー事業の模範となるとともに、その効果・活動が実際に周辺自治体へ波及していることは大きな功績と認められる。</p>

環境保全功労者功績内容等

氏名・年齢・住所・職業	功 績
<p>GOSATプロジェクト ごうさつとぶるじえくと</p> <p>代表者 GOSATプロジェクト (独)宇宙航空研究開発機構宇宙利用ミッション本部衛星利用推進センター・ミッションマネージャー 中島正勝、 (独)国立環境研究所地球環境研究センター・衛星観測研究室長 横田達也</p>	<p>GOSATプロジェクトはJAXA、NIES、MOEが三者共同で運営。 世界で唯一の温室効果ガス観測技術衛星であるGOSATの開発は三者により進められ、JAXAにおいては衛星と衛星センサの開発、衛星の打ち上げ・運用、観測データの取得等へ貢献し、NIESは、衛星データによる温室効果ガス濃度の導出手法の開発・改良、データの hochi 処理、データの提供に貢献している。</p> <p>平成14年に京都議定書が締結されたことをうけ、締約国の「研究及び組織的観測の推進」に貢献するために、世界各地の温室ガス吸収・排出の状況の把握を目的としてプロジェクトを開始。 温室効果ガス観測センサ(TANSO-FTS)及び雲の有無を識別しデータを補正するための雲・エアロゾルセンサ(TANSO-CAI)の2つのセンサを開発し、温室効果ガスの濃度を正しく測定する仕組みを搭載。 GOSATでは京都議定書の第1約束期間中の5年間を継続して観測するために冗長系(機器を2段階構えとし、片方が失敗しても観測を継続できる仕組み)機能を持たせ、2翼の太陽電池パドルを持たせるなど、5年間の設計寿命をもたせている。 特にパドルが1翼故障しても、従来のように運用を終えるのではなく観測を継続できるのは世界でもGOSATが初めてである。</p> <p>平成21年1月23日に種子島宇宙センターより打ち上げに成功。 以降、以下の実績をあげてきた。 ・平成21年10月 観測データ(輝度スペクトル及び観測画像)の一般提供開始 ・平成22年2月 CO2、メタン濃度データの一般提供開始 ・平成22年4月 アイスランドの大規模火山噴火に際し、GOSATにより取得された噴煙画像を英国政府に提供 ・平成23年10月 全球CO2吸収排出量データに関してプレスリリース ・この間、3回にわたり研究公募を実施、データ利用を推進するとともに、知見の収集に努めてきた。</p>
<p>桜井 泰憲 さくらい やすのり</p> <p>国立大学法人 北海道大学大学院水産科学研究教授</p>	<p>2004年に知床世界自然遺産候補地科学委員会委員に就任し(同委員会は2005年に知床世界自然遺産地域科学委員会に名称変更)、同海域ワーキンググループ座長を務め、遺産登録案件を審査するIUCNからの海の保全に関する指摘への対応に当たり、科学的な見地からの助言を提供。同助言は知床の世界遺産登録の実現への大きな貢献となった。 その後、漁業者をはじめとする関係者間の合意を得た知床世界自然遺産地域多利用型統合的海域管理計画の策定に中心的に関与。知床の海域管理のあり方は漁業者による自主的管理のモデルとして広く世界に紹介されることとなった。 2005年から中央環境審議会臨時委員に就任。自然環境部会・野生生物部会を担当し、自然公園法の改正や生物多様性国家戦略の改定作業に貢献。また、海洋生物多様性保全戦略の策定や重要海域の抽出に、検討委員として関与。漁業と海洋生態学をつなぐ視点から貴重な示唆を与え続けている。</p>
<p>西岡 秀三 にしおか しゅうぞう</p> <p>公益財団法人地球環境戦略研究機関顧問</p>	<p>氏は、環境システム学、環境政策学の専門家として、地球温暖化対策等環境行政に多大な貢献をされているところである。 氏は、平成13年2月から中央環境審議会の臨時委員として就任して頂いているところである。部会は、地球環境部会、自然環境部会に所属されている。特に地球環境部会においては、温室効果ガス削減目標の達成シナリオ作成のための技術的検討等を行う「目標達成シナリオ小委員会」の委員長を始め、気候変動に関する将来の国際的な対策に係る枠組みに関する調査を行う「気候変動に関する国際戦略専門委員会」の委員長、温室効果ガスの排出量の削減に関する我が国の具体的な対策・施策の道筋(中長期ロードマップ)について審議する「中長期ロードマップ小委員会」の委員長、2013年以降の中長期の温室効果ガス削減目標を実現するための具体的な対策とそれを後押しする施策を如何に総合的・計画的に進めていくかについて審議する「2013年以降の対策・施策に関する検討小委員会」の委員長に就任し、とりまとめ等尽力頂き、その功績はG8での先進国において2050年80%削減を目指すことや、第4次環境基本計画において日本が2050年80%削減の低炭素社会の構築を目指すという政策の大きな方針を定めるために極めて大きな貢献を果たしている(なお、「低炭素社会」という用語そのものを日本社会に定着させたことも氏の大きな功績の一つである)。 また、温暖化対策に係る中長期目標達成のための対策・施策のパッケージを政府として検討していくにあたり、専門的・技術的観点から調査・検討を行い、具体的な提案を行う「地球温暖化対策に係る中長期ロードマップ検討会」の座長を務め、全体のとりまとめにも尽力された。 以上のとおり、氏は中央環境審議会臨時委員等として多大な貢献をしており、環境保全功労者として推薦するものである。</p>

環境保全功労者功績内容等

氏名・年齢・住所・職業	功 績
<p>ファインモータースクール ファインモータースクール 代表取締役会長兼社長 臼田和弘</p>	<p>○全国初の「楽エコ教習」を開発し、一般ドライバーに対してエコドライブの普及啓発に努めていること ファインモータースクールでは、環境に配慮した運転方法「エコドライブ」を組み込んだ、日本で初めての教習カリキュラム、「楽エコ教習」を開発した。運転免許取得の教習は、法的にカリキュラムが決まっているが、同スクールの「楽エコ教習」は、法的カリキュラムを崩すことなく、エコドライブの要素を組み込んだもので、例えば教習時間に単純に1時間、エコドライブを教える時間を設けるのではなく、教習全体にその要素が入っている。例えば、A T車では、学科教習、技能教習合わせて57時間のカリキュラム全体を通じて、エコドライブのノウハウを伝えるものである。これにより、免許取得をした時には自然と「エコドライバー」になっている。</p> <p>○「楽エコ教習」は、全国の模範となるエコドライブ普及活動であること 自動車社会が進展する中、エコドライブは、地球環境保全のためには、その普及が不可欠とされているが、事業用ドライバーが組織的に推進しているのと比べて、一般ドライバーへの普及は、極めて困難な課題となっている。しかし、同スクールでは、一連の教習を通じて、初心者に対してエコドライブの基本を植え付けるなど、全国の模範となる普及活動を実施している。</p> <p>○過去3年間の「楽エコ教習」を通じて、地球環境保全のために相当の効果を上げていること 同スクールは、埼玉県内の3校で「楽エコ教習」を実施し、卒業生は、平成20年11月の開始以来、本年4月末で7,742人となった。なお、同スクールによると、楽エコ教習卒業生7,742人による毎年のCO2削減量は、332万9,834kgで、重さにすると、4tトラック約832台分に相当する。また、フナの木36万3,874本当たりのCO2吸収量に相当する。</p>

地域環境保全功労者功績内容等

県 別	氏名・年齢・住所・職業	功 績									
青森県	海上前町内会 かいじょうまえちょうないかい 町内会長 高村 國雄	<p>平成2年4月に資源物集団回収団体として八戸市に登録して以来、長年にわたり紙類・金属類・びん類などの資源物集団回収を行っている。回収にあたっては、年度当初に年間スケジュール及び各月の当番を決めることで、集団回収が計画的、効率的に行われるように心掛けている。また、各家庭で資源物の置き場が無くなったときや、収集当日に都合が付かないときのために、集会所の隣に保管小屋を設けることで事前受け入れを可能にし、地域住民の協力が得られやすいように工夫している。</p> <p>回収は年12回実施。過去3年間の実績は次のとおり。</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>平成21年度</td> <td style="text-align: center;">12回</td> <td style="text-align: right;">17,720kg</td> </tr> <tr> <td>平成22年度</td> <td style="text-align: center;">12回</td> <td style="text-align: right;">17,911kg</td> </tr> <tr> <td>平成23年度</td> <td style="text-align: center;">12回</td> <td style="text-align: right;">16,870kg</td> </tr> </table> <p>当該活動は地域全体の活動として定着し、地域におけるごみの減量化や再資源化の推進に大きく貢献している。</p>	平成21年度	12回	17,720kg	平成22年度	12回	17,911kg	平成23年度	12回	16,870kg
平成21年度	12回	17,720kg									
平成22年度	12回	17,911kg									
平成23年度	12回	16,870kg									
秋田県	及川 洋 おいかわ ひろし 国立大学法人 秋田大学大学院工学資源学研究科 土木環境工学専攻 教授	<p>平成10年7月から7期14年の長きにわたり、廃棄物処理施設の設置等について審議する秋田県産業廃棄物処理施設技術専門委員会委員に就任し、産廃処理施設の適切な設置等の審議において、土質力学、地盤工学の見地から、貴重な意見をいただいている。また、平成12年11月から6期12年の長きにわたり、秋田県環境影響評価審査委員会委員に就任し、環境影響評価等に関する技術的、専門的事項の審議において、貴重な意見をいただいている。</p> <p>特に、道路の敷設、ダム建設、産廃物最終処分場などの審議においては、地形・地質・地盤・治水等の各環境項目で、より適切な環境配慮を促す意見をいただき、本県の環境アセスメントの推進にご尽力いただいている。このように多年、多岐にわたり本県の環境行政の推進に果たした功績は多大なものである。</p>									
秋田県	柴田 光雄 しばた みつお 横手市廃棄物減量等推進審議会会長	<p>平成6年4月より、旧大雄村の保健衛生委員（現 横手市環境衛生指導員）に委嘱され、地域の環境美化、集積所におけるごみの分別や出し方のマナーに関する指導を実施されるとともに、各種清掃、クリーンアップ活動及び景観美化において積極的に取り組んでこられた。また、平成13年4月からは上記委員の協議会である大雄村環境衛生組織連合会会長（現 横手市大雄環境衛生組織連合会会長）を務め、現在も指導員の取りまとめや事業活動に大いに貢献している。</p> <p>さらに同年5月からは横手平鹿地区衛生組織連合会理事（現 横手平鹿地域ごみゼロあきた推進会議委員）に就任し、地域の環境事業において、自ら率先し、行動することにより、地域内外から高評価を受け現在に至っている。</p> <p>平成12年4月には旧 大雄村環境衛生巡視員（現 横手市環境監視員）に委嘱され、地域内の不法投棄の監視、防止活動において様々な提案・実践を行い、地域監視員のリーダーとして他の模範となっている。</p> <p>平成17年10月の市町村合併後は横手市環境衛生指導員、横手市大雄環境衛生組織連合会会長として引き続き地域の環境美化活動に取り組むとともに、平成18年3月からは横手市廃棄物減量等推進審議会の委員として、平成24年3月からは同審議会の会長として廃棄物の減量化や資源化の推進に尽力している。今後においても継続的な活動、成果が期待されている。</p> <p>（現職）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○横手市環境衛生指導員【旧大雄村保健衛生委員】（平成6年4月から現在に至る） ○横手市大雄環境衛生組織連合会会長【旧大雄村環境衛生組織連合会】（平成13年4月から現在に至る） ○横手平鹿地域ごみゼロあきた推進会議委員【旧横手平鹿地区衛生組織連合会理事】（平成13年5月から現在に至る） ○横手市廃棄物減量等推進審議会委員（平成18年3月から現在に至る） ○横手市廃棄物減量等推進審議会会長（平成24年3月から現在に至る） 									

地域環境保全功労者功績内容等

県 別	氏名・年齢・住所・職業	功 績
山形県	<p>甌山探究会 こしきやまたんきゅうかい</p> <p>会長 高橋 幸生</p>	<p>①平成7年から、クリーン作戦として地元住民、学校等に呼びかけ、県立自然公園等の清掃を毎年実施している。</p> <p>②町内及位地内に生息している希少生物「ハナカジカ」（環境省・絶滅のおそれのある地域個体群、山形県・絶滅危惧IB類）の保護と生息環境の保全のため、広葉樹の植樹などを行っている。</p> <p>③平成12年に林野庁の「森の巨人たち100選」に町内の巨木が選定されたことから、当会の構成員による「巨木の森ガイド会」を結成、ブナ林や巨木の森の自然体験ツアーのガイドに従事している。平成13年には「真室川町森の巨人たち保全協議会」のメンバーとして、巨木の保護・保全事業やガイドなどの活動を行っている。</p> <p>④平成16年に林野庁の「遊々の森」制度により国有林を借受け「塩根川学校の森づくり」を実施し、地域の人たちにはコミュニティの森として利用されている。また、小・中学校の環境教育の場として森林保全の拠点となっている。</p> <p>⑤平成18年に山形県環境学習支援団体に認定され、自然環境学習、自然保護、地球温暖化についての学習機会の提供に努めている。</p> <p>⑥平成19年「チーム 森と人をつなげ隊」へ参加、みどり環境公募事業「森林に親しむリレー体験」を実施し、ボランティアや連携団体と共に学校林を整備し、植栽から保育作業まで、森づくり活動を行った。</p> <p>⑦平成19年にみどり環境公募事業「希少生物ハナカジカの保護活動」として、地元中学生、ボランティアなどと共に、ハナカジカの生息環境保全のために、塩根川金打沢溪流沿いに広葉樹等の植樹を行った。</p> <p>⑧平成20年に山形ふるさと塾応援シニアの認定を受け、シニア世代が地元の歴史や自然環境保護についての知識、経験を地元住民や子どもたちに教えられるような場の提供などを行っている。</p> <p>⑨平成21年7月、県立自然公園荒沼湿原の生態系保護活動として、町内中学校生徒による自然環境体験学習を実施した。</p> <p>⑩JR東日本及び最上地域観光協議会主催の森林環境保全モニター事業として、都市部の高校生・大学生による自然環境保全体験活動を実施した。</p>
福島県	<p>福島市立水原小学校 ふくしましりつみずはらしょうがっこう</p> <p>校長 佐藤 安喜</p>	<p>1 活動内容 ○ 絶滅危惧種等の調査活動及び環境保全・環境保護活動 水原地区に自生するクマガイソウの年間を通した生育状況の観察活動や保護活動、地域の他の動植物の調査等を行い調査活動を基に、地域における環境保全や環境保護のあり方について研究</p> <p>2 活動従事年数及び年間の頻度 活動年数 10年間 年間活動日数 約15日間</p> <p>3 活動地域の範囲 水原地区全地域（特に狼ヶ森周辺地域）</p> <p>4 功績の内容 ○ 野生生物の保護等の自然保護活動 絶滅危惧種のクマガイソウを中心とした地域の山野草の調査・保護活動 ○ 環境保全に関する普及啓発活動 絶滅危惧種のクマガイソウを中心とした地域の山野草等の環境調査の発表会、地域の事業である「クマガイソウまつり」での環境ボランティア活動、地域住民への環境意識調査等を通した啓発活動 ○ 清掃等の地域環境の美化活動 水原川や通学路等の清掃</p>

地域環境保全功労者功績内容等

県 別	氏名・年齢・住所・職業	功 績
茨城県	<p>木村 勉 きむら つとむ</p> <p>常陸大宮市環境市民会議 副会長</p>	<p>氏は、地域住民による環境団体「ヤッホーふれあいの会」を平成9年に設立し、ごみ拾いをはじめとした地域の環境美化活動に長年にわたり取り組んでこられた。</p> <p>また、国や県を取り巻く環境問題の背景についてさらに深く学び活動にいかしたいとの思いから、茨城県が実施するエコ・カレッジを受講し、平成13年1月に優秀な成績で修了された。</p> <p>※エコ・カレッジ：環境保全活動を推進するリーダーを養成するもの。年間8回の講座で、テーマは温暖化やごみ問題など環境全般。</p> <p>一方、エコ・カレッジの修了生が設立した環境団体「エコネットいばらき」や、氏が設立したこどもエコクラブ「ヤッホーおひさまクラブ」の代表として、自然観察会や施設見学会を開催するとともに、自らまたは団体で、地域の環境イベントなどに積極的に参加するなど、環境学習の促進にも注力してこられた。</p> <p>このように、地域における環境保全活動を継続するかたわら、常陸大宮市環境基本計画の策定に市民委員として参画し、これまでに培った知識や経験を活かして、計画の策定に精力的に取り組まれた。</p> <p>氏は、好奇心旺盛で温厚な性格ということもあり、人望が厚く、多くの者の推薦により平成21年6月に、市環境市民会議副会長に就任された。</p> <p>現在は、市民会議副会長として強力なリーダーシップを発揮しながら、市と協働で、ごみ減量活動、環境美化活動、自然環境保全活動、地球温暖化防止活動、環境イベント等の開催など幅広い活動を主導しており、環境保全活動や環境行政の推進に大きく貢献している功績は誠に大である。</p>
群馬県	<p>特定非営利活動法人 あかぎくらぶ とくていひえいりかつどうほうじん あかぎくらぶ</p> <p>理事長 天田 清之助</p>	<p>群馬県のシンボルである赤城山麓の環境保護または復元する活動と、子どもの健全育成や環境教育のために、様々な自然体験活動を行っている。</p> <p>森林の保護復元に係る事業として平成22年度からサンデンフォレスト隣接の「室沢交流の森」をフィールドに荒れた森の下草刈り・間伐等を実施する「交流の森を育てよう」を実施し、荒れた里山の復元に着手してきた。平成22年度・平成23年度とも50名程の参加で、刈払機・チェーンソーなどの機材を実体験している。小学生向け自然体験活動として平成18年度から開催している「フォレストキッズ」の活動は、ターゲットを拡大し、地域住民や勤労者とその家族を対象に開催の自然観察会を充実開催するようになっている。NPO法人「赤城自然塾」の活動とも同機してその活動の幅は大きく拡大しつつある。</p> <p>①「交流の森を育てよう会」 ぐんま森林インストラクター会、赤城南麓森林組合の協賛を得て開催し、「室沢交流の森」を荒れた森から「人と伴に」ある森に蘇らせる活動。現在はぐんま緑のインターブリーター協会も参画し、「ササの生茂る暗い森」が陽の入る明るい森に蘇りつつある。</p> <p>②野外教育活動 設立当初より子どもたちの健全育成のための活動を実施。平成18年度からはそれらを総称し「フォレストキッズ」活動として実施してきた。現在では、「Eポートによる水辺の体験」「工場見学会&森探検」「放蝶会&森探検」「野鳥観察会」「冬の森で遊ぼう」「草木染め体験会」「天体観測会」などを、それぞれ専門分野の外部講師に依頼し、延べ15回450名の参加を得ている。</p> <p>③エコプロダクツ2011参加 サンデン(株)ブースでの活動、赤城自然塾ブースでの活動として「ウッドクラフト」を実施、間伐材の輪切りを使い好きな絵を描いて貰い、ジグソーパズル化やその上に木の実を使ったクラフトなどをしてもらう活動を行い、小学生を中心に延べ350名が参加した。</p>

地域環境保全功労者功績内容等

県 別	氏名・年齢・住所・職業	功 績
群馬県	<p>甘楽町善友会 かんらまちぜんゆうかい</p> <p>代表 丸澤 勝廣</p>	<p>戦後荒廃した里山の整備に端を発した活動であり、地元善慶寺にある標高250mほどの紅葉山（群馬県内に残る唯一の大名庭園「楽山園」の借景の里山）において草刈り等の環境整備活動を40年以上に亘り継続して行うなど、地域の環境保全に貢献している。現在は発足当時のメンバーの次世代が中心となっている。</p> <p>メンバーは平成24年4月現在地域住民68人で構成されており、週末等を利用して活動している。</p> <p>主な活動は以下のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 紅葉山の整備活動 草刈り等の清掃活動、年3～4回実施 2 木炭づくり 里山管理から発生する間伐材や竹材を活用して木炭づくりを行っている。 木炭はバイオマスエネルギーとして住民交流の場パーベキュー場での活用や妙義青少年自然の家で活用されている。 3 野鳥や昆虫観察の場づくり 地域住民による親子での野鳥や昆虫観察の場として利用されている。 里山を整備したことにより、数多くの野鳥が生息していることが確認されている。 4 植樹祭の開催 花王「みんなの森づくり助成事業」を受け（紅葉と花の拡大プロジェクト）親子での植樹祭を実施 竹林伐採後の山にモミジの植樹実施 5 その他の活動 甘楽町や富岡市の祭りやイベントに参加 中越大地震、東日本大地震支援募金活動などを実施
埼玉県	<p>エコライフDAYとだ実行委員会 えこらいふでいとだじっこういいんかい</p> <p>代表 川谷 勝晟（かわたに かつあき）</p>	<p>省エネ行動を確認するチェックシートを利用して、1日エコライフDAYの取り組みに参加することで、温暖化防止活動について周知し、温暖化について考える機会を設け、CO2の削減をすることを目的として活動を行っている。毎年、6月と12月の2回、事前に市内全18小中学校及び高校、市役所、事業所にチェックシートを配布して取り組みに参加してもらい、チェックシートの回収時に、小・中学生にはキャンドルナイトイベントのろうそくを一緒に配布したり、地域通貨（戸田オール）を配布することによって、より効果的な取り組みを行っている。</p> <p>また、小・中学校に配布することによって、子供のころから温暖化防止の取り組みについて考える機会が得られ、環境教育に貢献し、環境問題について定期的に考える機会を提供している。</p> <p>2005年に「第2回エコライフDAYとだ」を実施し、2006年に第3回を実施し、2007年以降は年2回実施し、2011年に第13回を実施した。</p> <p>直近では2010年で夏30,687人、冬30,618人、2011年で夏31,140人、冬28,878人（いずれもエコドライブ参加者を含むのべ人数）の参加があり、推定CO2削減量は2010年が約86トン、2011年が約83トンであった。</p> <p>また、2011年7月には牛乳パックをリサイクルした環境うちわを作成し、小学校等に配布し、夏の節電を呼び掛けた。</p>
千葉県	<p>新坂川をきれいにする会 しんさかがわをきれいにするかい</p> <p>代表 三宅 治美</p>	<p>「新坂川をきれいにする会」は平成7年9月1日に設立し、新坂川をきれいで豊かな水の流れにする（水の浄化、在来生物の保護、市民の憩いの場になる水辺にする）ことを目的として16年間活動している。水質浄化と水循環系への回復を図るため、定期清掃や川沿いの花壇の整備等を毎月実施し、他の模範ともなり、市民の環境保全への意識を高めている。</p> <p>さらに、行政が実施する河川水質浄化の啓発イベント等にも積極的に参加するなど、河川浄化・環境保全活動に多大な貢献をしている。また年4回、国が行う水質調査モニタリングに協力している。</p>

地域環境保全功労者功績内容等

県 別	氏名・年齢・住所・職業	功 績
神奈川県	<p>足立 直義 あだち なおよし</p> <p>自然観察団体 みずきの会代表 横浜市瀬谷環境ネット顧問</p>	<p>長年にわたり自然環境に関連する多くの団体の顧問や相談役を務め、各ビジターセンターや自然環境保全センターなどの施設や学校で自然観察会、講演会等を行うなど、大人から子供まで幅広い方を対象に自然環境保全の重要性について普及啓発に努めている。</p> <p>また、自然観察指導者の養成や学校教員への環境教育指導研修など、後進の育成にも尽力している。</p> <p>さらに、丹沢大山の自然について多くのレポートを制作し、「丹沢大山山麓だより」として出版するなど、自然観察の楽しさ、丹沢大山の自然の豊かさを多くの方へ伝えている。なお、平成24年5月現在でレポートは第1050号に達している。</p> <p>(活動内容) 自然観察指導者の養成、自然環境保全センター・ビジターセンター・宮ヶ瀬ダムでの自然観察会実施 ビジターセンター・博物館等での自然環境についての講演、グリーンハートスクール等で年間を通じての子供に対する環境学習指導、学校教員の環境教育指導研修、自然環境ボランティア活動、丹沢大山山麓だよりの発行（現在1000号突破）</p>
新潟県	<p>ノジコの会 のじこのかい</p> <p>会長 関根 依智朗</p>	<p>約40年前、三条市道心坂に1,000本のオオヤマザクラが植栽され、地域の篤志家が管理を行ってきた。しかし近年は荒廃し、半数近くが枯損していた。このような中、ボランティアで公園整備等を行っていたノジコの会に、地元住民からオオヤマザクラ保存の要望が寄せられ、これを受けて、平成14年から現在に至るまで、支障木の伐採、苗木の植樹、下草刈り等の作業を行い、合わせて1,000本以上の桜の管理を行っている。</p> <p>同時に、並木周辺に広がるカタクリ群生地の保全、市内の巨樹巨木の調査を実施し、里山植物の保全を行っている。</p> <p>また、市民向けに観桜会、野鳥観察会を開催し、森林の役割や里山保全の大切さを啓発し続けており、「道心坂のオオヤマザクラ並木」の存在が広く知れ渡るようになった。そのため、多くの市民が山野草や桜の観賞に訪れるようになり、三条市が環境政策として推進する「里山・森林における自然と触れ合う場の保全と創出」を具現化する団体として、優れた功績を残している。</p> <p>さらに、市や他団体が実施する植樹等へ会員を動員し、サポートするなど、環境保全団体として団体の枠を超えた横断的な活動を行っている。</p>
富山県	<p>高岡龍谷高等学校理科部 たかおかりゅうこうこうとうがっこうりかぶ</p> <p>理科部顧問 中藪 俊二</p>	<p>同部はほぼ毎日、生徒一人ひとりが、生命の源である水の尊さを学ぶために、身近な川にすむ生物の生態調査などの活動を行っている。</p> <p>主な活動としては、国と県の絶滅危惧種に指定されているホクリクサンショウウオの生息調査・観察や、学校の中庭に生息するトミヨ※の飼育を行っている。また、昭和62年からは、小矢部川の源流から河口までの16地点で水質調査・生息生物調査を毎年継続して実施し、経年変化を分析するなど、自然環境の観察を通じ、環境の保全について理解を進めている。</p> <p>また、「できるだけ現場で観察しよう。その要因を考えよう。」をモットーとして、野外での調査研究を積極的に行っており、その成果をさまざまな場で研究発表することによって、生徒や地域住民が、人や環境との関わりについて理解を深め、環境に配慮して行動するきっかけを提供するなど、環境保全意識の普及・啓発に多大な貢献をしている。</p> <p>1 調査・研究活動 (1) 山間地におけるホクリクサンショウウオの生息調査・観察 (2) 小矢部川流域16地点における水質調査、生息生物調査の継続実施、経年変化の分析 (3) 学校中庭におけるトミヨの飼育</p> <p>2 主な研究発表・実績 (1) 富山県高等学校研究発表会（毎年参加） (2) 第50回日本学生科学賞入選三等（ホクリクサンショウウオ生態調査）（平成18年度） (3) 全国高等学校文化連盟賞（平成21年度ほか） （その他、発表・受賞多数）</p> <p>※「トミヨ」：雄が巣を造って幼魚となるまで育てる特異な習性をもつ魚で、その生息地は、清水の湧出する河川に限られる。</p>

地域環境保全功労者功績内容等

県 別	氏名・年齢・住所・職業	功 績
石川県	野村 外喜子 のむら ときこ 金沢植物同好会代表世話人	<p>・金沢植物同好会等の活動を中心に、長年にわたり、植物の保護や自然保護思想の普及啓発に尽力してきた。</p> <p>・金沢植物同好会は、本県でも最も歴史の古い（昭和25年9月設立）自然系団体であるが、その中心メンバーとして、今日まで自然観察会を中心とする例会を半世紀にわたって維持継続してきた。この例会活動から、多数の自然史分野の愛好者や活動家が生まれている。現在、同会の代表者である代表世話人をつとめている。</p> <p>・金沢植物同好会の活動の一環として、同会の西要子と共同で、北陸三県に自生あるいは野生化している代表的な植物の解説記事を、「郷土の花はな」というタイトルで北陸中日新聞に平成14年より、2年間にわたって掲載した。四季折々を代表する高山植物から海浜植物までの101種を花の構造や特徴、見どころ時期、名所、花にまつわるエピソードなどに加え、全国の分布や植物用語も分かりやすく解説し、大きな反響を呼び、植物への関心や保護意識を高めた。 これをまとめた「郷土の花はな」は、単行本（202ページ）として平成17年に出版され、好評を博した。この著作は、北陸3県を中心に広く知られており、大きな影響を与えた。同書は再版され、今なお店頭で販売されているところである。</p> <p>・その他、分担執筆した著作の主なもの次は次の通りである。 石川県高等学校教育研究会編、1990. 石川の生物. 304pp. ; 石川県地域植物研究会. 1989. 石川県森林公園の植生. 198pp. ; 石川県地域植物研究会. 1994. 石川県樹木分布図集・489pp. ; 石川県植生誌編纂委員会編. 石川県植生誌. 1997. 230pp. ; 石川県絶滅危惧植物調査会. 2000. 石川県の絶滅のおそれの野生生物<植物編>. 358pp. ; 金沢みどりの調査会. 2002. 金沢市植物調査報告書（丘陵および市街地）. 56pp. ; 石川県自然史センター加賀市山中温泉地区植生調査実施委員会. 2007. 加賀市山中温泉地区の植生. 221pp.</p>
石川県	石川県婦人団体協議会 いしかわけんふじんだんたいきょうざいかい 会長 藤多 典子	<p>◆功労活動の社会への波及効果 設立以後、様々な活動を行う中、環境問題にも取り組み、平成11年には、石川県婦人団体協議会50周年記念事業として実施した「環境問題に関する意識・実態調査」を踏まえ、環境保全等の活動の推進を図り、また、平成15年には、会員600名を対象に環境家計簿の記録を実施。平成16年よりいしかわ家庭版環境ISOの取組みの推進や、平成18年より県主催の「県民エコライフ大作戦」に協力し、同年に優秀協力団体（6,171家庭協力）として知事感謝状を贈呈。 また、平成19年から県と事業者とのレジ袋削減協定に伴う消費者としてのマイバッグ持参運動の推進を実施や、県主催エコドライブ指導アドバイザー養成講習会への参加、地域でのエコドライブ教室の推進などを実施しており、平成20年には、「ふるさと石川環境保全功労者知事表彰」を受賞。ゴミ減量や地球温暖化防止への自覚と実践への意欲を喚起するなど、省資源、省エネルギー運動に取り組んでいる団体である。</p> <p>◆活動実績及び今後の計画など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グリーン購入の促進 ・県下各協議会の活動促進のための指導助言 ・県民会議の環境保全事業に協力（いしかわ環境フェアなど） ・省エネ・節電アクションプラン（いしかわ版環境ISOの充実強化事業）の推進協力

地域環境保全功労者功績内容等

県 別	氏名・年齢・住所・職業	功 績
山梨県	<p>信玄堤ホタルゆめ銀河の会 しんげんづつみほたるゆめぎんがのかい</p> <p>伊藤 征雄</p>	<p>平成8年に会を発足してから、以来、ホタルの愛護・育成を通じて自然と人との共生の大切さについて普及啓発を図るとともに、河川清掃を通じて地域の環境美化に貢献している。</p> <p>本会は、ホタルの成育河川である「おみゆき川」の清掃及び整備を積極的に実施するとともに、富士川流域の一斉清掃等へ参加し、地域の環境美化に取り組んでいる。</p> <p>また、ホタルの放流や河川の整備を通じて市内小学生のホタル育成活動を支援する環境教育活動も行っている。</p> <p>さらに県内外のホタル育成先進地を視察し、会員の意識向上に努めている。</p> <p><平成23年度活動内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホタルの生息地の清掃活動 ・種ホタルの採取から孵化、育成活動 ・鑑賞会の開催などのPR活動 ・事業の効果を高めるための調査研究活動 ・上記活動に必要な組織運営、広報活動 ・他の地域への普及、啓蒙、指導活動
岐阜県	<p>西之川ハリヨ保存会 にしのかわはりよほぞんかい</p> <p>会長 柳瀬 崇</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・若葉会（西之川町子供会）・自治会女性部等諸団体の協力を得ながら、広場の除草、樹木の手入れ等「西之川ハリヨの池広場」の自然環境保全活動を行っている。 ・池の水質点検、雑魚の駆除等ハリヨの生息環境の保全活動をし、保護育成している。 ・ハリヨの池下流域に「ホタルの里」を造成、ホタルの幼虫育成、放流を行っている。 ・清水にハリヨが泳ぎ、ホタルが舞い、清流に梅花藻が咲く里の実現に向け活動している。 ・子供の環境意識育成に向け、勉強会・各種イベント・小学校の課外学習の場として「ハリヨの池広場」を積極的に提供している。また、県内外の自然環境団体への積極参加と交流会を実施している。 <p>【ハリヨとは】湧水などのきれいな水にしか棲まないハリヨは、体長5cmほどのトゲウオ科の小魚で、現在は、滋賀県北東部と岐阜県西南濃地方にのみ分布している希少魚です。環境省により絶滅危惧IA類に選定されており、また、岐阜県では指定希少野生生物に指定されています。大垣市においても市の魚として制定され、水環境保全の象徴となっています。</p>
岐阜県	<p>関市立瀬尻小学校 せきしりつせじりしょうがっこう</p> <p>校長 長瀬 秀子</p>	<p>総合的な学習の時間や生活科の授業において、学年ごとに特色ある水環境保全活動を行っている。</p> <p>6年間の授業を通じて全児童が、長良川の環境をはじめ、森と川のつながりや生き物のつながりを学ぶ活動に取り組んでいる。</p> <p>また、PTAや地域と連携し、長良川の水質検査や清掃活動等を継続的に行っている。</p> <p>(各学年の活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> 1・2年生及び特別支援学級 → 生き物や植物育てる活動（平成12年度～） 3年生 → 関市特産物「円空芋」の無農薬・有機肥料栽培（平成12年度～） 4年生 → 長良川水質調査（平成13年度～）、小瀬鵜飼学習（平成13年度～） 5・6年 → 長良川清掃（昭和60年度～）

地域環境保全功労者功績内容等

県 別	氏名・年齢・住所・職業	功 績
愛知県	<p>藤原 奈佳子 ふじわら なかこ</p> <p>愛知県公立大学法人 愛知県立大学看護学部教授</p>	<p>専門分野の公衆衛生学に関する知見を活かし、以下の審議会等の適正な運営に尽力された。</p> <p>(愛知県自然環境保全審議会委員) 平成10年3月から平成13年3月まで3年にわたり、愛知県自然環境保全審議会温泉部会委員として公衆衛生学に係る専門的事項の審議に貢献した。</p> <p>(愛知県環境審議会委員) 平成10年8月から平成20年7月まで10年にわたり、愛知県環境審議会委員として公衆衛生学にかかる専門的事項の審議に貢献した。</p> <p>(愛知県環境影響評価審査会委員) 平成11年4月から平成21年3月まで10年にわたり、愛知県環境影響評価審査会委員として、専門である公衆衛生学の知識を活かし環境影響評価に係る審査に貢献した。</p> <p>(愛知県公害健康被害認定審査会委員) 平成18年9月から、公害健康被害の補償等に関する法律第44条に基づき設置された愛知県公害健康被害認定審査会委員として、公害健康被害者の認定更新や障害等級審査等の判断に尽力されている。</p>
愛知県	<p>林 良嗣 はやし よしつぐ</p> <p>国立大学法人 名古屋大学大学院教授</p>	<p>専門分野の都市環境学に関する知見を活かし、以下の審議会等の適正な運営に尽力された。</p> <p>(愛知県環境審議会大気部会委員・部会長) 平成12年8月から平成20年7月まで8年にわたり、愛知県環境審議会委員として都市環境学にかかる専門的事項の審議に貢献した。さらに平成20年8月から平成22年10月まで2年3月にわたり、同審議会の大気部会長として、部会のとりまとめに尽力された。</p> <p>(愛知県環境審議会会長代理) 平成20年11月から平成22年10月まで2年にわたり愛知県環境審議会会長代理として、同会議全体のとりまとめに尽力された。</p>
三重県	<p>水辺づくりの会 鈴鹿川のうお座 みずべづくりのかい すずかがわのうおざ</p> <p>代表 栗原勉</p>	<p>主な活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鈴鹿川水系に架かる堰堤への魚道設置、魚類の生息環境に配慮した護岸、河床の改善等を地元、土地改良区、県など適切な団体に提言していく ・流域の川魚文化に関する調査（魚の名前の方言など） ・ため池等の外来魚（ブラックバス、ブルーギル）の駆除 ・希少淡水魚の保護、増殖活動 ・水系での魚の生態系調査 ・地域のイベント時における環境教育活動

地域環境保全功労者功績内容等

県 別	氏名・年齢・住所・職業	功 績
京都府	<p>特定非営利活動法人 やましろ里山の会 とくていひえいりかつどうほうじん やましろさとやまのかい</p> <p>理事長 深田 三郎</p>	<p>本団体は、平成11年に前身となる任意組織が設立され、木津川やその周辺の里山に生息・生育する動植物を中心に、府民の参加を促進しながら自然観察会や調査活動を精力的に推進してきた。</p> <p>その活動の中で、平成13年にはフナバラソウ（京都府絶滅寸前種）を木津川堤で最後の1本を発見、平成19年3月には京田辺市内でカスミサンショウウオ（京都府絶滅寸前種）の生息を現地で初めて確認した。また、同年5月には府域で絶滅したと考えられていたレンリソウ（京都府絶滅種）を木津川堤で発見し、国土交通省淀川河川事務所等関係機関と連携して保全活動を展開してきた。</p> <p>我が国の植物分類学の権威である村田源・元京都大学講師ら多数の有識者の協力を得て平成13年度に特定非営利活動法人化し、活動推進体制を確立するとともに、平成20年に制定の京都府絶滅のおそれがある野生生物の保全に関する条例に基づき、レンリソウ等の保全団体として京都府の登録を受け、府域の希少野生生物保全のための幅広い取組を進めている。</p> <p>さらに、原木から切り出す炭焼き体験、休耕田を復旧しての稲作体験、木津川の水質調査、木津川の25種83ヶ所のレッドデータブック記載植物の保全、近隣小学校への総合学習支援講師派遣、木津川で魚とりの実施など、活動を通じて、学術的な自然保護活動はもとより、府民の自然とのふれあい推進に多大な貢献をしている。</p>
兵庫県	<p>宮田 和男 みやた かずお</p> <p>自然保護指導員・造園業（樹木治療）</p>	<p>1 自然環境行政への協力 昭和58年4月～平成5年8月まで、及び平成13年4月～現在に至る21年間、県の自然保護指導員として、但馬地域を中心に自然環境行政に関する施策へ多大な協力をしている。</p> <p>2 自然環境保全への取組 樹木医として、但馬地域のみならず全県にわたって、多くの巨木や衰退寸前の樹勢診断、また、その治療を施すなど自然保全にあたっている。治療実例としては、国指定天然記念物樽見の大桜、県指定天然記念物ホード一杉、泰雲寺のしだれ桜などがある。</p> <p>3 自然環境保全に関する普及啓発活動 各地で「巨木とその再生の取組について」「木（樹）と自然の関わりについて」などの講義を行い、人と木の関わりを機会あるごとに伝え、木の治療や育成の方法を伝授し、県の自然保護・保全に尽力している功績は大きい。 地域の小学校において、児童と共に校庭の樹木を調査し、木々にネームプレートをつけるなど、児童と木の関わりを持たせる出張講座を数多く行うなど、熱心な指導により児童へ自然環境保全に関する普及啓発活動を行っている。</p> <p>4 自然環境保全に関する環境学習の取組 南但緑の少年団地区連絡協議会役員として、南但馬の小学生やわんぱく教室の子ども達に、ツリーイングや枝打ち、のこぎり競争、ブナの育樹などの指導を行い、子ども達へ自然や木との関わり方を伝えている。これらの子ども達に自ら体験させる指導がもたらす環境学習の効果は非常に大きいものがある。</p>
奈良県	<p>奈良・人と自然の会 なら・ひととせんのかい</p> <p>代表 藤田 秀憲</p>	<p>我が国固有の文化的資産である古都奈良の歴史的風土の保全、再生に向け多大の成果を上げている団体である。</p> <p>歴史的風土の保全のために特に重要な区域である特別保存地区（平城宮跡地区）の古都買入地約12.5haについて、荒廃しつつある里山の間伐や植樹等を行い、また放置竹林、笹藪と化した田畑などの里地への復元などに精力的に取り組んでいる。</p> <p>整備に当たっては、歴史的風土との調和に配慮するとともに、事前に行う生き物調査の結果に基づいて、その土地に相応しい生態系への誘導を目指しており、生態系保全と一体となった景観整備を行っている。</p> <p>活動は継続的に発展しており、毎週木曜日の活動日には毎回30～40人が集まり、近隣住宅地住民が活動を見て参加を希望する人も多いという。地元小学生の環境教育に協力するなど、地域住民との交流も積極的に行われている。</p>

地域環境保全功労者功績内容等

県 別	氏名・年齢・住所・職業	功 績
和歌山県	和歌山県立日高高等学校 わかやまけんりつひだかこうとうがっこう 校長 高田晴美	<p>日高高校設立三年目から生物部の活動として野鳥観察を40年以上継続し、自然環境の変化を調査している。傷病鳥獣の保護活動や調査結果の市民への説明を行うなど地域に貢献し、生命の大切さを訴え続けてきた。2007年、文部科学省よりスーパーサイエンスハイスクールに指定され、和歌山の豊かな自然を活かし、地域を題材とした課題研究や体験活動を積極的に行い、環境保全への取組を推進している。</p> <p>〈環境保全に関する主な取組〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校外研修 …天神崎のナショナルトラスト運動の学習と生物観察、世界遺産高野山での研修など ・課題研究 …「日高川の水質調査」「雑種タンポポのDNA鑑定」「南方熊楠の植物標本整理」「スズメは本当に減っているのか」「高野山のコウヤマキの抽出液による発芽抑制作用」「日高地方特産真妻ワサビの辛味成分」「紀伊半島のハマダイコンの耐塩性」「日高川河口のハマボウの分布」「絶滅危惧植物シランを増やそう」など ・科学クラブ…風力発電や水質についての調査、県内の植物調査、森林土壌調査 ・生物部………40年間の鳥類調査の結果を総括して発表。2006年より日本学生科学賞毎年入賞 ・エコスクール委員会…2006年に太陽光風力発電装置を校庭に設置しエネルギー学習に利用。生徒会によるペットボトルと段ボールの回収に加え、校内のごみの分別を徹底、リサイクルに学校全体で取り組む。 ・その他………地元のペットボトル再生業者と連携、工場見学や生徒会によるリサイクル運動を行い、リサイクル素材を活用して中庭の舗装を行う。 <p>〈主な受賞〉 「わかやま環境賞」2008年 生徒の地域の環境に関する研究成果は、「日本学生科学賞」「日本植物生理学会」「日本鳥学会」「全国SSH研究発表会」「わかやま自主研究発表会」「和歌山県生徒科学研究発表会」等で発表し多数受賞。</p>
島根県	片山 裕之 かたやまひろゆき 国立大学法人 島根大学名誉教授	<p>①「島根県環境影響評価技術審査会」の会長職を3期9年間務め、多くの事例について「知事意見の取りまとめ」、「島根県環境影響評価技術指針の策定」及び当時、法律の対象外の事業であった風力発電事業に係る「島根県風力発電所環境配慮指針」の策定などに尽力。</p> <p>また、「島根県廃棄物処理施設整備検討委員会」の会長職を7期13年にわたって勤め、県内の廃棄物最終処分場の設置に関し、県の環境影響面からの意見取りまとめに貢献。</p> <p>②また、平成11年には「島根県地球温暖化計画策定検討委員会」の委員長として「CO2CO2(ここ)からはじめるチャレンジプラン;島根県地球温暖化対策推進計画」を策定。</p> <p>さらに、島根県の循環型社会推進施策の基礎となる「しまねグリーン製品認定委員会」の委員長を4期7年勤め数々の製品を認定。</p> <p>③島根大学退官後は、公益財団法人「しまね自然と環境財団」登録の「しまね環境アドバイザー」として県内各地において環境保全、地球温暖化対策等普及啓発を行い、県民の自発的な活動を支援。</p> <p>このように、永年にわたり島根県環境行政の推進を行った功績は多大である。</p>
岡山県	梶田 博司 かじた ひろし 財団法人 おかやま環境ネットワーク理事	<p>平成5年、倉敷市発行の自然保護啓発冊子「くらしきの昆虫」で作成に協力した。</p> <p>平成9年度から毎年、倉敷市が環境月間行事の一環で開催するホタル講演会及び観察会の講師として、倉敷市の環境保全に貢献している。(平成21年度からは市民団体が市協働事業で実施)</p> <p>自然の生態系とりわけホタルの保護を通じて、自然環境及び水環境の保全に向けた市民の意識啓発の推進のため、写真、イラスト、執筆、講演会、観察会等で子どもたちにも分かりやすく解説している。</p> <p>平成17年からの「ホタル協働ミーティング」(備中県民局主催)では、アドバイザーとして、それぞれの地域でホタルの保全活動に取り組む市民の指導にあたっている。</p> <p>平成12年岡山県内のホタル保護団体からなるホタル連絡会(現・おかやまホタルフォーラム)の立上げに中心メンバーとして参加、アドバイザーとして各団体の指導に当たる他、平成22年には、フォーラムの活動を取りまとめ「ホタルと人と文化」として共著出版し、環境保全に係る県民意識の高揚に貢献している。</p> <p>また、夜行性動物、特にオオサンショウウオの生態調査を積極的に行い、科学的知見の提供などにより保護に貢献している。</p>

地域環境保全功労者功績内容等

県 別	氏名・年齢・住所・職業	功 績
岡山県	<p>大島 光子 おおしま みつこ</p> <p>岡山県環境審議会副会長</p>	<p>氏は、13年以上もの長きにわたり、卓越した知識、特に専門の化学の見識により、岡山県環境審議会大気部会委員として大気保全に関する重要な施策を審議・調査する他、平成17年からは岡山県環境影響評価技術審査委員会委員も務めるなど、岡山県の環境保全に関して積極的かつ適時的に助言を行っている。また、平成16年からは大気部会副部会長を、平成22年からは部会長を務めるなど、部会の円滑かつ適切な運営に尽力している。</p> <p>さらに、平成20年からは同審議会政策部会委員を、平成22年からは同審議会副会長も併任し、地球温暖化対策や環境学習などの個別の重要な施策への提言をするとともに、さらに岡山県環境基本計画推進専門委員会委員として活躍、環境関係条例の改正に関わる等、環境保全全般にわたりいかにその力を発揮している。</p> <p>以上のように、氏が本県の環境行政に与えた恩恵は計り知れず、また、氏の卓越した知識と温厚な性格は、他の委員や県職員の模範となっている。</p>
岡山県	<p>北の吉備路保全協会 きたのきびじほせんきょうかい</p> <p>会長 宮本 邦男</p>	<p>備中国分寺や造山古墳に代表される「吉備路」に対比して、総社市の北東部に位置する地域は「北の吉備路」と呼ばれており、現在では定着しているこの表現は、当協会が名付けたものである。</p> <p>この地域は吉備史跡県立自然公園に含まれ、吉備高原地帯と岡山平野の境界エリアであり、県北県南の両方で生息、自生する動植物が見られ、また、日本人の心の原風景といわれる里山の情景をいたるところに留めており、里山環境の中で生息する動植物も数多く見られる地域である。</p> <p>平成12年3月、従前から長年にわたって活動を続けていた、この地域を愛する有志が集い「北の吉備路保全協会」が正式に設立された。</p> <p>設立後の主な功績は次のとおりである。</p> <p>①鬼城山・北の吉備路・総社市等の環境現況調査</p> <p>②「総社ふるさと自然のみち」の整備 環境省の補助事業で整備した本施設に計画段階から関わり、貴重な意見のみならず現地調査にも尽力した。更に整備後の現在に至るまで維持補修作業に多大な協力をしている。</p> <p>③ヒイゴ池湿地の維持管理と提言 高速道路工事のミティゲーションとして整備したヒイゴ池湿地について、高い見識から維持管理について提言をし、ボランティアで維持補修作業を継続的に実施している。また、地域の小学校に講師を派遣して環境学習にも尽力している。</p> <p>④北の吉備路写真展 本地域に息づく動植物や人々の暮らしを啓発するため、年1回の写真展を10年にわたって開催した。</p> <p>⑤北の吉備路地域の自然観察会の実施 総社市が主催するナチュラルウオーク（春の植物が芽生える4月上旬に実施）に毎年ボランティアで講師を派遣し、動植物のみならず歴史遺産についての解説もしている。</p> <p>⑥自然学校の実施 総社市が主催する自然学校（小学生を対象とした1泊2日のキャンプ）に毎年ボランティアで講師を派遣し、山での生活体験や木工教室などを企画するうえで多大な協力をしている。</p>

地域環境保全功労者功績内容等

県 別	氏名・年齢・住所・職業	功 績
広島県	<p>ヒョウモンモドキ保護の会 ひょうもんもどきほごのかい</p> <p>会長 井藤 文男</p>	<p>○ 平成13年6月 環境省及び広島県のレッドデータブック（絶滅のおそれのある野生生物）において、もっとも絶滅のおそれの高い「絶滅危惧Ⅰ類」に指定されているチョウの「ヒョウモンモドキ」の調査・保護活動を行っていた研究者と愛好家等、緊急的、組織的に保護する必要性を感じ、任意団体を設立</p> <p>○ ①科学的な調査・研究、②実践活動、③広報活動、④行政への提言を活動の柱として取組を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼虫観察会や成虫観察会及び生息地の管理作業（＝草刈りや樹木の伐採）を実施するとともに、近隣の小学校の総合学習の中で「ヒョウモンモドキ」を題材にした出前授業を行う。 ・ 生息地域内での「ほ場整備事業」に対し、実態調査や保護策を講じる上での技術協力、工事のモニタリング、地元住民を巻き込んだ管理活動を実施 ・ 生息地域内で整備されている県民公園の「せら夢公園※」に対し、保護策を講じる上での技術協力、完成後の公園ボランティア運営への協力を実施（※平成18年4月開園） ・ 産卵調査や幼虫放流実験を実施 ・ 三原市自然観察会へ協力するとともに、せら夢公園で昆虫観察会を実施 ・ 広島県や三原市教育委員会主催の環境イベントでパネル展示を実施 ・ 地元の自治体・専門家・地域団体等をメンバーとして設立された「ヒョウモンモドキ保全地域協議会」へ参画 ・ 第6回全国チョウ類保全シンポジウムで事例発表
広島県	<p>くれ環境市民の会 くれかんきょうしみんのかい</p> <p>会長 木原 滋哉</p>	<p>○ 平成15年11月に「環境」をキーワードに市民・事業者・市が共に考え行動して、環境に調和した人と地球に優しい「わがまち呉」の実現を目指すパートナーシップ組織として設立</p> <p>○ 四つの専門部会（生活環境部会、環境学習部会、自然環境部会、資源エネルギー部会）を設置し、各部会において様々な課題解決のための企画を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ニュースレターの発刊（平成24年5月現在；24号） ・ 年1回、環境講演会の実施 ・ 日頃の環境保全活動の取組を情報発信することを目的に「くれエコフェスタ」を開催（毎年10月） ・ みどりのカーテンコンテスト実施 ・ 平成21年6月1日から呉市域の協定締結店において、レジ袋無料配布の中止を実施 ・ 平成21年から現在に至るまで、温暖化防止のための様々な環境啓発活動を、呉名物の「屋台」のメニューとして情報集約し、誰もが興味を引く広報スタイルとしての「エコ屋台」を考案し、普及啓発活動を展開
山口県	<p>錦川流域ネット交流会 にしきがわりゅういきねっとこうりゅうかい</p> <p>代表世話人 白井啓二</p>	<p>「錦川流域ネット交流会」は、平成14年11月に、錦川流域で活動する環境団体32団体が集まり結成された会であり、現在の会員数は46団体32,000名まで増加している。</p> <p>錦川流域をフィールドとして活動を行う団体が、お互いの情報を交換し、連携することにより、錦川に関わる情報発信や、自然と文化の保全・再生活動を継続的に実施しており、その功績は顕著である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成15年から継続事業として、錦川流域の各支流に「錦川源流の碑の建立」を実施しており、現在までに7支流に建立している。 ・ 「源流の碑」の作成に当たっては、山口県を代表する橋のひとつである錦帯橋の掛け替えで不要になった古材を活用して作成しており、古材を 地区の子どもたちとリヤカーなどを使って運搬し、建立の際には除幕式を開催することにより、環境保全の意識啓発を図っている。 ・ 毎年7月20日前後の日曜日に、流域市町と連携を取りながら「錦川流域一斉清掃」を行っている。 参加者も年々増え、毎年4,000人近い参加者により清掃活動を実施している。 ・ 地元小学校へ環境学習の講師として出向き、子どもたちに錦川のすばらしさ、自然環境保全の大切さを啓発している。 ・ 地元の自然資源である、寂地山カタクリ群生地地の保全、錦町広瀬の節草自生地の保全・一般公開、宇佐川オオサンショウウオ生息環境の保全 等、多くの活動に携わっている。

地域環境保全功労者功績内容等

県 別	氏名・年齢・住所・職業	功 績
熊本県	<p>菊池管内環境活動協議会 きくちかないかんきょうかつどうきょうぎかい</p> <p>会長 井上 弘味</p>	<p>【概要】 菊陽町・合志市・菊池市・大津町を母体とし、熊本県内の各種団体と連携しながら、環境保全活動を地域住民に普及、啓発することを目的としており、平成17年から、自治体担当者研修会や管内各市町村単位での体験型環境学習・講演会の開催に取り組んでいる。</p> <p>【活動期間】 平成17年4月～継続中（現在8年目）</p> <p>【主な活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画会議や環境学習・情報交換を目的とした定例会を毎月1回、総会及び研修会を年1回実施。 ・月例会では、会員がそれぞれの活動内容を報告し合い、情報の共有と活動内容の充実を図っている。 ・体験型環境学習や講演会などの出前講座を各市町村単位で開催。（体験型環境学習プログラムは、①マイ箸、箸袋づくり②あまり傘、牛乳パックなどを使った作品づくり③水引を使った作品づくり④リ・ガラスアート⑤マイバックづくり⑥箸置きづくり⑦廃油をつかった作品づくり⑧エコクッキングなど） ・環境センターと連携した学習会の開催など本会独自のプログラムを開発している。 <p>【活動の効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント等の啓発活動が新聞等で取り上げられ、情報発信ができた。 ・幼稚園や小学校あるいは主婦を対象とした出前講座に講師として依頼されたり、講演会を開催したりして、活動を広げている。 <p>【今後の継続性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各会員が1年に1回以上の啓発活動を企画するとともに、これまでの活動を継続していき、組織的な活動をしていく。 ・幼児や小学生を対象とした多様なプログラムを持っているので、それを生かした出前講座等を積極的に展開する。 ・従来から実施している地域のイベントでの啓発活動とともに県や国の環境イベントへの出展を検討している。
熊本県	<p>大津町立大津南小学校 おおつちょうりつおおつみなみしょうがっこう</p> <p>校長 吉田 廣和</p>	<p>【概要】 平成11年度から『実践力を育てる環境学習の創造～ふるさとにやさしい心豊かな子どもの育成を目指して～』というテーマのもとに研究及び活動を始め、その後絶えることなく12年間環境教育の実践に取り組んでいる。</p> <p>【活動期間】 平成11年4月～継続中（現在14年目）</p> <p>【主な活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境教育を通して、環境に関わり、学び、行動する総合的な力の実践力を児童につけることを目的に、白川についての系統的な学習、「白川学習」を6年間を通して計画的に行っている。 ・清掃活動を毎朝継続している。 ・全校児童による生活科や総合的な学習の時間を使った「白川学習」や「塘井手清掃」などの体験学習・学校版環境ISOとして、「大津南小環境宣言」・大津町の企業であるHONDAとの連携した「環境わごん」の実施 ・地域の環境ボランティア団体と連携した活動等（こららを菊池保健所や水土里ネット（土地改良区）、大津、菊陽水道企業団体の全面協力を得ながら、実施。） <p>【活動の効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低学年で自然や環境に興味・関心を持つようになり、最終的には自分たちの身近なクラスから学校、ふるさとへと活動の輪を拡げることが環境を守る活動に有効ということを実感させている。 ・学んだことや活動したことをいろいろな機会に発信しており、校区の方々をはじめ多くの方々に理解していただいている。 <p>【今後の継続性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動計画が各学年ごとに細かく立てられ、系統性を感じ、長期の活動が期待できる。 ・教育目標に基づく活動であり、今後も更に充実した活動となるように工夫・改善を繰り返しながら、学年ごとに計画を立てて実践する予定。 ・活動の中には、既に児童の生活の中に定着しているものもあり、「継続」・「改革」の両輪で、新たな環境学習を構築していく。 ・これまでの活動を土台として、地域との連携をさらに重視し、環境教育を通じて新たな人との出会いや地域発見の場づくりを進めていく。

地域環境保全功労者功績内容等

県 別	氏名・年齢・住所・職業	功 績
大分県	<p>下判田里山観察会 しもはんださとやまかんさつかい</p> <p>代表 後藤 勝彦</p>	<p>平成13年に下判田地域において大型スポーツ施設建設の計画が持ちあがり、このままでは里山の自然が壊されてしまうことを危惧して、自然をもっと知ろうということをきっかけに自然観察会を開催した。スポーツ施設は他の場所に建設されたが、この地域の豊かな里山の自然を広く伝えて行くことを目的に、毎月第2日曜日に自然観察会を開催しており、開催回数は100回を超える。その他にも、近隣の小学校で行われる自然観察会や、育成クラブの川探検などにも、指導者として積極的に参加している。</p> <p>自然観察会では、参加した子ども達に里山の自然の楽しみ方、身近な自然の大切さを伝えるなど、観察会を通して環境学習・環境教育の普及啓発に大変貢献している。</p> <p>また、オオイタサンショウウオやヤマアカガエルの産卵地を確保するために、産卵地に流入する土砂をくい止めるなど休耕田の整備を行うとともに、平成20年から、環境省が実施する「モニタリング1000里山調査」の調査活動に、大分県では3調査箇所の1カ所として参加し、調査項目にないもの（人為的圧力・川の生物）まで記録を取り、毎月発行している「通信」で広報を行うなど、里山環境の保全に積極的に取り組んでいる。</p> <p>このような活動は、地域の自然保護・環境保全に多大な貢献をしており、その功績は顕著である。</p>
宮崎県	<p>水源の森づくりをすすめる市民の会 すいげんのもりづくりをすすめるしみんのかい</p> <p>代表 倉爪 徹</p>	<p>活動内容</p> <p>大淀川・清武川流域に豊かな水源の森づくりをすすめることを目的とし、現在わくわくの森Ⅰ（平成9年植樹・都城市青井岳国有林1ha）及びわくわくの森Ⅱ（平成15年植樹・宮崎市石坂国有林0.7ha）、わくわくの森Ⅲ（綾町有林）の3ヶ所をフィールドとして森づくりを行っている。作業は7月と9月の年2回の下草刈及び3月の春の整備である。作業の後は「森のコンサート」を開催している。また子どもの参加者にはネイチャーゲームで自然に親しんでもらっている。作業以外には、5月に森づくりの会講演会、10月に森の散策を開催している（いずれも過去7回実施）。会報は年4回発行している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動地域の範囲 宮崎市周辺の大淀川、清武川流域 ・地域への貢献 作業は会員及び一般市民の参加を得て、設立以来確実に実施してきており、わくわくの森Ⅰは13年を経て素晴らしい山になった。水も湧き出し、自生木も70種が確認されており、除伐木での炭焼きも2回実施した。自分達で植え、自分達で手入れをして育てているため面積も多くは出来ず、1つの森で6～7年は下草刈の手入れが必要なため、次のフィールドに取りかかる周期も長い。しかしその分会員の森への愛着は深く、森のコンサート実施等楽しみながらの森づくりである。会報は行事の案内及び結果報告はもとより、「森の知恵袋」「連載企画」「森の観察日記」などの内容で500部作成し、会員配布に加え、各行政機関への配布及び公立図書館他いろんな所にお持ち帰り用としても置いており、市民の皆さんへの情報発信を行っている。

地域環境保全功労者功績内容等

県 別	氏名・年齢・住所・職業	功 績
鹿児島県	<p>山野 一幸 やまの かずゆき</p> <p>社団法人 鹿児島県産業廃棄物協会 専務理事</p>	<p>本県の環境保全行政発足当初であった入庁時から退職するまで一貫して環境保全行政に携わり、その推進に精力的に励み、環境保全行政の礎を築くとともに、近年の新たな環境問題への対応などに尽力してきた。</p> <p>特に、水環境行政においては、閉鎖性水域の富栄養化防止対策として極めて重要な施策である「鹿児島湾ブルー計画（第1期～第4期）」及び「池田湖水質環境管理計画（第1期～第3期）」の策定並びに両計画の推進にあたって、水質汚濁メカニズムの解明やリモートセンシングによる鹿児島湾の水質評価など総合的な水質保全対策の推進に果たした業績は顕著である。</p> <p>また、平成17年度は担当課長として両計画の推進の陣頭指揮をとるなど、閉鎖性水域の水質保全について顕著な功績が認められる。この両計画は、現在も本県の重要水域の水質環境管理計画として引き継がれており、本県の水質保全対策の基礎の形成に大きく貢献している。</p> <p>一方、平成9年度には長期的展望に立った本県の環境保全施策の基本的方向を明らかにした「環境基本計画」の策定、平成10年度には本県の環境の保全及び形成の基本的理念となる「環境基本条例」の制定、さらには、「鹿児島県環境マネジメントシステム（ISO14001）」の基礎となる「県庁環境保全率先実行計画」策定において、その中心的な役割を果たしており、その貢献は顕著である。</p> <p>このように、水環境保全のみならず廃棄物、自然保護、地球温暖化など地域の環境保全から地球規模の環境保全まで幅広い分野において、常にその取組の中心的な役割を果たしてきており、その功績は多大である。</p>
横浜市	<p>特定非営利活動法人 鶴見川流域ネットワーク とくていひえいりかつどうほうじん つるみがわりゆういきねっとわーきんぐ</p> <p>代表理事 岸 由二</p>	<p>鶴見川の水系に沿って自然や都市を学び、バクの姿の流域地図を共有しながら流域規模の市民連携をすすめ、《安全・安らぎ・自然環境・福祉重視の川づくり・まちづくり》をとおして、持続可能な未来を開く新しい流域文化を育むことを目的に活動し、足元の自然を大切にすることを第一に、環境保全・再生・教育活動を推進してきました。</p> <p>今年で18回目になるクリーンアップ作戦は、川辺を市民が自発的に清掃するよう促し、周辺の町にもごみを捨てる人が減り、川辺やまちを美しく変貌させました。</p> <p>環境学習の分野では、鶴見川で環境学習や体験から教科を学びたいという学校に、安全で楽しい川の学習の機会をサポートを提供しています（一部受託事業を含む）。活動に参加した子どもたちは、水循環・水再生のメカニズムを知り、自然と自分たちの暮らしの関係に気づき、自らの生活を改変し、周りの大人たちにその現実を知らせようと努力し始めています。</p> <p>また、平成20年度より三井物産環境基金の助成金を獲得し、①鴨居河川敷（都筑区）②早淵川親水広場（都筑区）③早淵川合流地点綱島河川敷・寄洲（港北区）において、特定外来種であるアレチウリの除去と在来種のオギの植生回復を実施し、本来あるべき自然の姿へと保全回復作業を実施しています。これらの拠点は、散策・子どもたちの遊びの場になり、環境学習の場にもなっています。</p> <p>さらに流域で活動する44市民団体（内31が横浜で活動する市民団体）と連携し、水系・流域での魚類・鳥類等の生物調査も継続して実施しました。平成22年度は支流早淵川でアユの産卵・孵化を初確認ができました。20年間の活動により、足元の自然を素敵な場所にし、自分の暮らすふるさと横浜・地域への愛を育み、大切に市民が大勢育ってきたという実感を持っています。今後も、このような体験型の学習により、持続可能な地域の環境文化育成に大きな効果を生み出すよう努力していくこととしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水辺のビオトープ整備（生きものにも暮らしやすい水辺の整備）を通して、憩いの場や環境学習の場を創出。学校や公共施設でのビオトープ作りの推進と指導。 ・魚とりなど、子どもたちをターゲットにした自然体験型の学習支援・イベントの工夫。 ・移動水族館などの三世代に対応できるイベントの実施。地域の人々に参加を呼びかけ、足元の自然を伝えながら、生物多様性への関心を喚起していく。
名古屋市	<p>末次 勸 すえつぐ すずむ</p> <p>名古屋市公害健康被害認定審査会会長</p>	<p>平成11年5月から13年以上の長期にわたり、名古屋市公害健康被害認定審査会の委員として、公害認定患者の審査業務に従事いただいております。平成12年11月からは、認定審査会の会長を務め、本市認定審査会の中心的役割を果たしていただいております。</p> <p>近年の公害健康被害にかかる審査は、患者の高齢化に伴い、認定疾病以外の他疾病を合併している事例が多くなり、判断が非常に難しい事例が増加している。個々の事例の判断基準は、全国的状況及び医学上の新たな知見を踏まえ、本市としての知見を積み上げているところである。その中で被推薦者は、委員としての経験が長く、本市審査会の過去の経緯や、法律の福祉の見地について熟知し、かつ、呼吸器疾患専門医として学術的に優れた見識と経歴を持つため、本市認定審査会の会長として、他の審査会委員からの信頼も厚く、公正かつ円滑な公害補償制度の運営に果たす功績は、多大である。</p> <p>（最近の学会等の経歴） 日本呼吸器学会名誉会員、日本アレルギー学会功労会員 他</p>

地域環境保全功労者功績内容等

県 別	氏名・年齢・住所・職業	功 績
名古屋市	<p>山本 幸司 やまもと こうし</p> <p>国立大学法人 名古屋工業大学総合工学プロジェクト研究所プロジェクト教授</p>	<p>平成15年3月、名古屋市環境影響評価条例に基づく環境影響評価審査会委員に就任し、環境影響評価等に関する技術的又は専門的事項について調査審議を行うなど、本市の環境アセスメントの推進にご尽力いただいている。</p> <p>現在、同審査会の副会長を務めていただいております。高層建築物の建設、鉄道の建設、ごみ焼却等施設の設置など、これまで延べ12件の事業について、その専門分野（社会基盤計画学）の観点から、安全性（交通安全）等の環境項目において、当該事業者が適切に環境影響評価を行い、より適正な環境配慮がなされるよう貴重な意見を述べていただき、本市の良好な環境の確保にご協力をいただいております。さらに、名古屋市環境影響評価条例に基づき策定している技術指針を改定する際に、本市の環境影響評価が最新の科学的知見に基づき適切に行われるよう貴重な意見を述べていただくなど、多年にわたり本市環境行政の推進に多大な協力をいただいております。</p>
神戸市	<p>山下 淳 やました あつし</p> <p>関西学院大学法学部教授</p>	<p>多年にわたり、神戸市の環境影響評価制度における第三者機関である「神戸市環境影響評価審査会」の委員（平成8年～平成24年）として、主に法制度の分野を中心として、厳正な調査審議に尽力された。さらに実際の事業実施による環境影響評価に係る審議のみならず、市における環境影響評価の技術・精度の向上のため、環境影響評価技術指針の改正や、各種環境影響評価マニュアルの作成にもご尽力いただいている。</p> <p>また、行政法、土地法、地方自治法など、法制度に関する深い理解と幅広い学識を基に、「神戸市環境保全審議会」の臨時委員として、本市の環境行政に対し、有益かつ先見的なご助言をいただいている。</p> <p>また、審査会の中心として、経験豊富なベテラン委員をまとめつつ、中堅及び若手の呼吸器専門医の育成にも尽力いただいている面でもその功績は大きい。</p>
神戸市	<p>妙法寺川を美しくする会 みょうほうじがわをうつくしくするかい</p> <p>会長 中島 康伸</p>	<p>当会は、妙法寺川の美化に努め、清流を取り戻すとともに、昆虫や魚介の生息しやすい環境をつくり、子どもたちや多くの人々が水辺で遊び憩うことのできる親水河川として改善することを目的として結成されました。毎年4回の大規模清掃活動を中心として、毎月の小規模な清掃活動や地元学生の清掃活動の支援等を行っています。また、ごみのポイ捨てや自転車の不法投棄の禁止、ペットの散歩マナーの呼びかけなど、美化広報活動も積極的に行っています。このような活動を通じて地域住民相互、地域と学校との交流も深まっており、他団体の模範となっています。</p>
関東事務所	<p>栗原 貞夫 くりはら さだお</p> <p>特定非営利活動法人 栃木県環境カウンセラー協会顧問</p>	<p>日光杉並木の並木守人、杉並木ガイドとして活動を行っているほか、杉並木の保全活動にも従事している。また、日光湧水地の保全活動、地域のクリーン作戦等にも参加協力しているほか、那須塩原市の全国植樹祭にも参加協力している。さらに、全国環境カウンセラー連合会・監事、栃木県災害ボランティア会員登録、今市市環境懇談会委員、今市市湧水保全活動ボランティア委員、日光杉並木観光ガイド、今市市自然エネルギー活性化プロジェクト委員、今市市テクノハウス活用企画委員、今市市V連加入「たんぼぼ」の会・会長等、役職多数。</p>

地域環境保全功労者功績内容等

県 別	氏名・年齢・住所・職業	功 績
関東事務所	葛谷 理子 くずやまさこ 環境カウンセラー	<p>(1) 栃木県環境カウンセラー協会員としての活動：環境カウンセラー登録後、栃木県環境カウンセラー協会員として鬼怒川の自然観察会、環境学習会等で環境保全のための活動に協力したほか、2002年から4年間は監事として役割を分担した。</p> <p>(2) 身近な水環境を保全するための活動：安全でおいしい水と、その水を育む豊かな自然環境を後世の子ども達に残したいと考え、主に水環境保護の観点から活動してきた。1988年から現在まで「栃木の水を守る連絡協議会」代表、1989年から現在まで「みみずの会」代表、1997年から現在まで「思川開発事業を考える流域の会」（幹事）、2000年から現在まで「水環境条例制定ネットワーク（通称水ガキ学習会）」幹事を務めている。これらはいずれも、身近な水環境を良好に守っていきたいとの思いを持ち栃木県内で活動する市民団体で、自然観察会や親子の水辺教室を開催したり、生物多様性に関する学習会等を開催したりしている。これら団体の役員としての活動のほか、水辺教室では講師を務めている。</p> <p>(3) 調査活動：栃木県内の中禅寺湖をフィールドとした釣り人の水質調査活動「ネイチャーホリデー・イン中禅寺湖」（1995～98年）、横根山をフィールドとした貴重な岩海地形を保全しようという自然保護グループの環境調査活動（1997～98年）、那珂川町の備中沢をフィールドとした自然保護グループの環境調査活動（2004～05年）に協力し、継続した水生昆虫調査を行った。</p> <p>(4) 釜川の水源・弁天沼の保全のための活動：宇都宮市の公募に応じ、環境基本計画策定のためのワーキングチームのメンバーとなり、環境基本計画の中に弁天沼を釜川の水源として位置付け保全していく旨が明記されるよう尽力した。</p>
関東事務所	飯田 和子 いいだ かずこ 川崎・ごみを考える市民連絡会代表	<p>川崎・ごみを考える市民連絡会（1993年より現在まで）の代表として、リサイクル活動を進めごみの減量を実践する輪を広げ、川崎市のごみ分別・資源化への流れを築くとともに、川崎市廃棄物減量指導員（1993年から現在まで）として、町会と協力し、生ごみリサイクル講習会や施設見学会の開催を行うなど、住民のごみ減量の普及啓発活動に尽力された。また、川崎市環境審議会委員（2000年から2011年まで）として、市民団体委員として市民の立場から環境行政の推進に貢献した。</p>

地域環境美化功績者功績内容等

県 別	氏名・年齢・住所・職業	活 動 内 容		功 績
岩手県	<p>綱取ダムの環境と清流を守る会 つなとりだむのかんきょうとせいりゅうをまもるかい</p> <p>会長 富澤 正昭</p>	<p>対象活動</p> <p>従事年数</p> <p>年間活動日</p> <p>活動範囲</p>	<p>綱取ダム周辺の清掃活動、花壇整備、河川パトロール、河川美化啓発の看板、ごみかご設置、さけの稚魚放流会</p> <p>昭和57年10月から現在に至る（今年度で30周年）</p> <p>イベントは概ね7日、その他随時活動。 綱取ダム周辺</p>	<p>・昭和57年会発足以来、毎年春及び秋の2回町内会、子供会、関係団体等と綱取ダムの周辺清掃活動及び、ダム周辺河川のパトロールを行うなど、環境と清流保全について永年にわたり尽力している。（毎回100人以上の参加がある。）</p> <p>・毎年開催している花の植栽は、憩いと潤いを与える場を提供しているものであり、また、綱取ダムと地域のコミュニケーションを図ることに貢献するなど地域を上げて積極的に取り組んでいる。</p> <p>・外来魚禁止、ポイ捨て禁止看板の設置、さけの稚魚の放流会を毎年行うなど、地域の子どもたちを中心に自然愛護意識の啓発とダム周辺の環境保全啓発などの活動に努めている。</p>
宮城県	<p>亀井 長 かめい おさむ</p> <p>宮城県大崎市岩出山地域 川北集落公衆衛生組合長</p>	<p>対象活動</p> <p>従事年数</p> <p>年間活動日</p> <p>活動範囲</p>	<p>地域活動はもとより、多年にわたり、地域連合会等の役員として自ら率先し、快適な生活環境の向上のため、清掃活動や病虫害の消毒を実施し環境美化運動に尽力している。</p> <p>23年1カ月</p> <p>地域内ごみ収集日における集積所立会指導並びに春と秋における一斉清掃活動日</p> <p>地域の衛生組合長として、快適な生活環境の向上のため、環境美化運動（一斉清掃）に尽力している。</p>	<p>川北地域衛生組合長就任以来、地域総参加による春秋の一斉清掃作業（不法投棄された空き缶等回収と道路側溝の泥上げ作業）の実践及び屋外焼却の禁止並びにゴミ分別の徹底と減量化促進のため、収集日（週2回）における集積所立会指導を行うなど環境美化運動に努め、組合員のよきリーダーとして模範となっている。また、岩出山地域公衆衛生組合連合会会長に就任以来、家庭排だごみの適正処理の推進に特に力をいれ、平成23年度には約3,700世帯に岩出山地域独自の「家庭ごみ分別早見表」を作成配布するなど、環境美化運動の推進に多大なる貢献をしている。</p>
宮城県	<p>上清水沢衛生組合 かみしみずさわえいせいくみあい</p> <p>高梨敏光（区長・古川地域公衆衛生組合連合会監事）</p>	<p>対象活動</p> <p>従事年数</p> <p>年間活動日</p> <p>活動範囲</p>	<p>伝染病予防と環境衛生の向上を目的に消毒・花いっぱい運動・統一清掃実施</p> <p>49年</p> <p>2週間～3週間</p> <p>地域内の公共施設・集積所・側溝等</p>	<p>衛生組合設立以来、地区一丸となって、不法投棄された空きカン、空きビン等の収集及び側溝の泥上げ、道路清掃作業を実施。また年4回にわたり病虫害駆除を実施している。それにより地区民の結束が強くなり、害虫の発生も少なくなっている。また地区の中心部に位置し、小学校、公民館等の公共施設への花いっぱい運動、清掃を実施している。成果としては、地区内の道路、集会所などの地域内環境が保たれており、地区住民の環境への意識も向上している。</p>
福島県	<p>渡部 誠 わたなべ まこと</p>	<p>対象活動</p> <p>従事年数</p> <p>年間活動日</p> <p>活動範囲</p>	<p>自宅近くの「塩庭稲荷神社」敷地内の草刈・清掃作業や環境整備等</p> <p>20年以上</p> <p>草刈・清掃作業は冬季を除いてほぼ毎日実施（約250日）</p> <p>「塩庭稲荷神社」敷地内（敷地面積 1,319㎡）</p>	<p>退職後の平成3年ころから自宅近くの「塩庭稲荷神社」敷地内の草刈や清掃作業に従事。それ以前は敷地一面が竹や雑草に覆われ、暗く寂しい雰囲気のある神社であったが、現在ではきれいに整備され、雑草やごみなどは見られない。</p> <p>また、現職のころに培った経験を活かして神社の境内を取り囲む用水路の境界を石垣状に整備したり、境内をブロックで区画整理したりするなど神社の環境整備に努め、常に良好な景観が保たれている。また、廃材で自らベンチを制作・設置し、地域の人々に憩いの空間を提供している。</p> <p>塩庭地区の鎮守であり、地域の人々の憩いの場となっている。</p>

地域環境美化功績者功績内容等

県 別	氏名・年齢・住所・職業	活 動 内 容		功 績
福島県	金山自治会 かなやまじちかい 金山自治会会長 小松富士男	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	美化・清掃活動 46年 20日 金山行政区内	当該行政区では、地域の道路や集会所等公共空間の清掃美化活動に長年、取り組んでいる。市が主催する春・秋のいわきのまちをきれいにする市民総ぐるみ運動(いわき市内一斉清掃美化活動)に積極的に参加しており、区内の除草や、紙くずや空き缶などの散乱ごみの回収を行っているほか、年2回「住民ボランティアの日」を設定し、地域の公共施設・福祉施設等の清掃活動、緑地公園への植樹・樹木の手入れ等を継続して実施している。さらに、県道上三坂・小野線両側の緑地帯を活用し、きれいな花を咲かせて通行する人々にやすらぎを与えるなど、美しいまちづくりに積極的に取り組んでいる。
福島県	日出山アメンボウクラブ ひでのやまあめんぼうくらぶ 会長 濱津 武夫	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	・阿武隈川、笹原川、南川の河川敷のクリーン活動、河川敷への植栽。 ・永盛小児童との川下り 16年 約30日 安積町を流れる阿武隈川、笹原川、南川周辺を中心とした地域	平成7年の設立以来、河川敷のクリーン活動(阿武隈川、笹原川、南川)、河川敷への植栽やその管理を行っているほか、地元小学校の児童を対象とした川下り体験などを実施している。河川敷に季節ごとに咲く色とりどりの花々が、周辺住民だけでなく、阿武隈川にかかる日出山橋を通る学生などからも好評を得ている。 ○活動従事年数 16年 ○活動頻度 河川敷のクリーン活動 年2回 河川敷への植栽 年数回 永盛小学校との川下り体験 年1回 ○活動地域 安積町を流れる阿武隈川、笹原川、南川を中心に活動 ○受賞歴 ・平成12年 建設省東北建設局より感謝状 ・平成16年11月 あぶくま川清流大賞(福島民報社) ・平成18年 自然環境浄化活動に対する表彰状(ライオンズクラブ) ・平成24年 3月 うつくしま、ふくしま。環境顕彰
茨城県	伏木北部環境を守る会 ふせぎほくぶかんきょうをまもるかい 会長 二瓶 長庸	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	清掃、緑化 13年 365日(不法投棄監視活動を毎日実施しているため) 茨城県猿島郡境町 伏木北部地区一帯	伏木北部地区では、かねてから産業廃棄物や建設残土が野積みされていたとともに、産業廃棄物の野焼きが横行していた。さらに、平成11年頃には、伏木北部地区の雑木林にトラック約200台分のごみが不法に投棄され、これらのごみには、冷蔵庫や洗濯機などの家電製品、自転車やビニールくずなどが大量に含まれていた。 これらの不法投棄や野焼きなど違法な廃棄物処理の横行にたまりかねた地区住民が「行政だけでは任せず、自分たちの地域は自分たちで守ろう」と、平成11年11月に「伏木北部環境を守る会」を組織し対策に乗り出すこととなった。 具体的には、地区独自の勉強会を開催しごみ処理や不法投棄問題についての理解を深めるとともに、ごみ監視自衛組織による地区内の監視活動、不法投棄の禁止を訴える看板設置などを実施してこられた。 また、団体と境町とが協働し、平成12年6月から平成13年10月まで3回にわたる大規模な清掃活動を行なった結果、トラック約200台分の不法投棄ごみは全て撤去され、加えて、団体及び地区住民の主体的な取組により桜の植樹を行ったところ不法投棄と違法な野焼きは沈静化された。 その後も団体の活動は継続され、毎日の不法投棄監視活動、毎月2回の定期的な清掃活動、町職員を講師として招いたごみ減量化講座の開催、地球温暖化防止活動推進員の地区からの選出など、様々な活動を展開されている。 これらの、住民自治組織が主体となった環境美化活動は他の自治組織の模範となるものであり、その功績は誠に大である。

地域環境美化功績者功績内容等

県 別	氏名・年齢・住所・職業	活 動 内 容	功 績
栃木県	天神町自治会 てんじんちょうじちかい 会長 増淵 孝造	対象活動 ○長年にわたり空き缶拾いなどの環境美化運動に積極的に取り組んでいる。 ○石橋駅前道路沿い花壇に毎年数千本あまりの花を植栽し、手入れを実施している。 ○資源再利用運動によるゴミの減量化に努めている。 従事年数 15年 年間活動日 約30日 活動範囲 石橋駅東地区周辺	・平成21年2月「道路愛護作業コンクールフラワー部門」優秀賞受賞 【栃木県道路愛護連合会】 ・平成23年12月「とちぎの環境美化県民運動」功労団体表彰 【栃木県】 天神町自治会は、石橋駅東通り沿いの花壇への花植えを行う花いっぱい運動、自治会区域内のごみ拾い作業を行う環境美化運動を中心とした、住みよい緑の町づくりを目的として平成9年に発足した。会員は現在約240世帯。 中でも「花いっぱい活動」は、石橋駅周辺の道路花壇（約700m）に、年間を通じて四季折々の花を絶やすことなく植え、定期的に入れ作業を行うものであり、色とりどりの草花は、地域住民はもとより一般通行者及び駅を利用する多くの人たちに、快適さと心のやすらぎを与える場所となっている。 また、毎年5月の最終日曜日を県民統一行動日として県下一斉に散乱ごみ収集などを行う「とちぎの環境美化県民運動」にも、町等と協力・連携し、積極的に参加している。 そのほか、夏の時期には道路清掃・除草作業による道路の保全を目的とした「道路愛護活動」、河川の清掃による河川愛護活動などの清掃活動も取り組んでいる。また、年間を通じて自治会内の公園の清掃等を行う「公園愛護活動」も展開しており、天神町自治会は様々な活動に積極的に取り組むことで、地域の自然環境美化に貢献している。
群馬県	安中市立松井田北中学校 あんなかしりつまついだきたちゅうがっこう 校長 今井 典幸	対象活動 生徒による清掃活動及び緑化活動、地域での清掃奉仕活動等 従事年数 18年 年間活動日 毎週木曜日（登校時の清掃活動）、5～6月（緑のカーテン）、6・8月（校庭及び周辺の除草作業）7月（地域での清掃奉仕活動、尾瀬学校の実施）、8月（廃品回収活動）、10月（校庭花壇の花の苗植え付け）等 活動範囲 学区内全域	・松井田北中学校では、「自ら考え、正しく判断する力を持ち、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成」を目指した教育活動を行っている。 その中で、ゴミ拾いや空き缶拾い、除草、清掃活動といった環境美化活動にも熱心に取り組み、学校内だけでなく、地域の施設においても清掃奉仕活動を実践するなど、地域とのふれあいを大切にし、生徒が主体的に行動する活動に積極的に取り組んできた。 1 通学路のゴミ拾い活動 毎週木曜日の登校時に全生徒が通学路から校内までのゴミ拾いを行っている。活動の前日には校内放送で生徒に呼びかけをし、当日は成果を報告するなど、活動が継続する工夫を生徒会が中心となって自主的に行っている。 2 地域への奉仕活動 地域の公共施設である「ふるさとセンター」において、池や水路の清掃活動や庭の草むしりを年に1回全校生徒で行っている。施設からは、施設内の部屋を学習室として生徒に開放してくれるなど、地域との結びつきが図られている。 3 緑のカーテン 環境活動の一環として、平成20年度から校舎に緑のカーテンを設置。ゴーヤ及びアサガオの苗を使い、種植や毎日の水やりは環境美化委員が交替で行うなど、生徒が協力して取り組んでいる。 4 廃品回収 毎年夏休みに、全校生徒・保護者・職員で校区全体を対象に廃品回収を行っている。古新聞や雑誌、ダンボール、アルミ缶やビール瓶などリサイクル出来るものを回収し、学校まで運んでいるが、この活動には小学校のPTAや区長も協力しており、地域全体の活動になっている。 5 除草作業 年に3回程度、校庭を中心とした除草作業を行っている。また、PTA主催で行われる奉仕作業の時にも、校庭や花壇の除草、植え込みの剪定など、保護者と生徒が一緒になって環境美化活動を行っている。

地域環境美化功績者功績内容等

県 別	氏名・年齢・住所・職業	活 動 内 容		功 績
群馬県	<p>新巻公民館遊歩道委員会 あらまきこうみんかんゆうほどういいんかい</p> <p>代表 富澤 義一</p>	<p>対象活動</p> <p>従事年数 19年</p> <p>年間活動日 随時、また6月と9月の第1日曜日</p> <p>活動範囲 新巻地区遊歩道周辺（約1Km）の整備</p>	<p>吾妻川の自然遊歩道や親水公園の美化活動、環境保全活動を行う。</p>	<p>・地域を流れる吾妻川周辺は、岸に奇岩が連なり景勝地となっていたが、その反面、人の手が入らず藪地として荒れ果てていた。そこで、地域の住民が約1Kmに亘る吾妻川船渡大橋からあづま温泉間の新巻地区遊歩道周辺の整備を始め、約4ヶ月で人が足を踏み入れられるようになるまで整備を行い、現在までの間、地域住民が中心となって周辺整備を継続している。</p> <p>1 親水公園の整備等 遊歩道の整備とともに公園の整備にも力を注ぎ、手作り遊具や街路灯の設置、庭木の寄付やきれいになった池には魚を放流するなど、自然の中の公園作りに尽力した。 また、その後は清掃だけにとどまらず、公園内の緑化にも力を入れ、地域の小学生を協力して桜を植樹したり、花壇づくりを行うなど、地域の環境美化活動に貢献している。</p> <p>2 炭焼きによるゴミの減量化等 公園等で風によって倒れた木々を炭化させ、木炭や木酢液を作り出すことでゴミの減量に成功。炭や木酢液はお土産品などで売ることができ、売上げは会の運営費に充てられ、公園内の案内板を作成したり広報活動として地図を作成することに役立てられている。</p> <p>3 ホタル鑑賞会の開催 ホタルやめだかの保護活動を行っており、平成20年からは毎年7月にホタル鑑賞会を開催。地域の環境保全活動にも貢献している。 以上のような活動は、地域住民の地域をきれいに良くしたいという自発的な活動から始まっており、全てボランティア活動によって運営されている。</p>
埼玉県	<p>あゆみ会 あゆみかい</p> <p>会長 野口 洋子</p>	<p>対象活動</p> <p>従事年数 15年</p> <p>年間活動日 年間24日以上</p> <p>活動範囲 元荒川（越谷市内）</p>	<p>実践活動（植栽活動、清掃活動、美化活動など）／ 啓発活動（環境学習、広報など）</p>	<p>1 植栽活動、清掃活動、美化活動の実施 ①地域の自治会や小学校、企業などと協力し合いながら元荒川護岸への芝桜の植栽活動を実施。（通年） ②元荒川の清掃活動や除草活動を実施。（年24回）</p> <p>2 啓発活動の実施 ①地域の小学生と保護者とともに環境学習の一環として植栽活動を実施。 ②会報「芝桜のあゆみ」を発行。</p> <p>3 県の環境行政への協力 ①県が進める「川の再生事業」に積極的に参加・協力し事業の推進に貢献。</p>
埼玉県	<p>特定非営利活動法人 元荒川をきれいにする会 とくていひえいりかつどうほうじんもとあらかわをきれいにするかい</p> <p>代表理事 布施 雅子</p>	<p>対象活動</p> <p>従事年数 7年</p> <p>年間活動日 年間29日以上</p> <p>活動範囲 元荒川（さいたま市内）</p>	<p>実践活動（清掃活動、美化活動、生物調査など）／ 啓発活動（体験イベント、啓発イベント、広報など）</p>	<p>1 清掃活動、美化活動、生物調査の実施 ①元荒川河川敷とその周辺の清掃活動を実施。（年6回） ②元荒川河川敷において不法投棄禁止運動を実施。（年5回） ③元荒川河川敷の草刈りを実施。（年5回） ④元荒川の生物調査を実施。（年5回）</p> <p>2 啓発活動の実施 ①カヌー体験イベントやサイクリングイベントなどの自然体験イベントを開催。（年3回） ②ボランティア団体との協働イベントを開催。（年4回） ③区民祭りにおいて、元荒川の生き物を展示し元荒川の自然をPR。（年1回） ④会報「のうし」を発行。</p> <p>3 県の環境行政への協力 ①県が進める「川の再生事業」に積極的に参加・協力し事業の推進に貢献。</p>

地域環境美化功績者功績内容等

県 別	氏名・年齢・住所・職業	活 動 内 容		功 績
千葉県	飯田 道子 いいだ みちこ	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	清掃活動 20年 約160日 自宅周辺及び公民館	平成2年10月から20年間、ごみ出し日には毎朝ごみステーションへ行き、汚れていれば清掃し、ルール違反のごみが出ていれば正しく分別して袋詰めをするなどしている。 こうした活動により、ごみステーションは清潔に保たれ、その姿勢が啓発的な意味で地域住民のよい手本となっている。 平成22年度からは、市が地区公民館（豊成公民館）に設置しているリサイクル倉庫のごみの出し方が不適切であることから、豊成公民館リサイクル倉庫の整理や不適切物が搬入された場合のチラシ作成による啓発を行っている。
千葉県	花咲連合町会 はなさきれんごうちょうかい 会長 尾崎 克彦	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	清掃活動 28年間 82日 市内	「花咲連合町会」は昭和29年8月1日に設立し、昭和58年から28年間、会員相互の親睦を図り環境美化に関する啓発普及活動の推進、空き缶、ビン、新聞、雑誌等の資源回収を積極的に推進する目的で活動している。 町内生活環境の整備向上と安全の保持を図り、住みよい町にするため、環境保全活動に取り組んでおり、特に資源ごみの回収、分別収集を積極的に行っている。 屋敷花咲まちづくり会議への提唱、共働のもと、小学校、中学校、幼稚園、介護ホーム周辺に、春花植えを行い、随時水やりや草取りを行っている。広範囲にわたる中学校周辺歩道の清掃は、小学校のマラソン大会に合わせて行い、屋敷花咲連合町会、和楽会（花咲老人クラブ）、第六中学校区青少年健全育成連絡協議会（PTAなど）、ボランティアの皆さんに参加していただき、清掃作業を行っており、また、子供会を通して月1回児童公園の清掃を行う等地域の環境美化に貢献している。
神奈川県	網一色自治会 あみいっしきじちかい 自治会長 山田 寛	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	・地域内にある児童遊園地の清掃・除草・植栽・樹木剪定 ・海岸清掃 ・河川清掃 ・近隣道路のらくがき書き消しなど 31年 月1回 網一色自治会内	網一色自治会は、地域内に2箇所ある児童遊園地（八幡神社内ほか）の清掃・除草・植栽・樹木剪定や設備の点検などを31年間にわたり毎月実施することで、地域の憩いの場をきれいに保つなどの美化活動を推進している。 また、近隣の学校と連携した河川清掃（不定期）や近隣道路のらくがき消し（毎年10月）、連合自治会主催の海岸清掃などに積極的・自主的に参加し、地域の環境美化に貢献している。 本団体の地域環境美化に対する意識は高く、今後の事業の継続も見込まれる。
神奈川県	大塚壮青会 おおつかそうせいかい 会長 梅澤 哲夫	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	「花いっぱい運動」等のボランティア活動 20年 約20日 大塚区内	大塚壮青会は平成4年7月10日に設立され、以後、毎年「花いっぱい運動」等のボランティア活動を行っている。 「花いっぱい運動」では、所属する行政区（大塚区）内の道路沿いの土地に花壇を整備して、花の植付を毎年4～5回行うことで、歩行者等に憩いの場を提供するとともに、ごみの不法投棄の防止にも寄与している。 また、大塚区内の道路等の美化清掃等を毎年4～5回行い、環境美化思想の普及啓発にも貢献している。 さらに、町で募集している「違反屋外広告物除却協力団体」の登録団体として、違法に掲示・貼付された広告物の除却活動を精力的に行っており、大塚区内において違反広告物が著しく減少するなど、多大な成果を挙げている。 その他、大塚区や育成会等の事業にも積極的に参加、協力しており、その活動は他の模範となるものである。

地域環境美化功績者功績内容等

県別	氏名・年齢・住所・職業	活動内容	功績
富山県	高岡市佐野地区婦人会 たかおかしさのちくふじんかい 会長 北 雅子	対象活動 道路の清掃美化活動及び地域環境美化意識の啓発活動 従事年数 36年 年間活動日 約30日 活動範囲 高岡市佐野地区の国道156号線及びその周辺	昭和53年以来、国道156号線の拡幅に伴う横断地下道の設置をきっかけとして、婦人会活動の一環として国道周辺の清掃を実施しており、佐野地区内に設置されている横断地下道（7か所）やバス停周辺について、それぞれに清掃担当班を決めながら、毎月2～4回の清掃を行い、長年にわたって地域の環境美化に努めている。 また、平成元年以降、地区内にある富山県立高岡聴覚総合支援学校の生徒と一緒に、年2回（6月、12月）、交流清掃活動を行っており、その取り組みは他の模範となっている。 その他、地区全体で空き缶ゼロ運動に取り組むとともに、新聞紙を再利用したりリサイクルブローチづくり等の各種のエコ活動を推進するなど、地域の環境意識の高揚にも努めている。
山梨県	甲州市立菱山小学校 こうしゅうしりつひしやましようがっこう 校長 大澤正史	対象活動 地域環境美化活動・環境保全活動 従事年数 19年 年間活動日 年間を通して活動を実施 活動範囲 菱山小学校区域	学校活動全体で環境教育に取り組んでいる。 平成5年に『菱山小学校緑の少年少女隊』を結成したことを契機に、地域の自然・環境の保全を目的に、菱山地区や勝沼町の玄関口としての勝沼ぶどう郷駅及び駅周辺の清掃活動を始めた。以後、毎年春と秋に清掃活動を続け、今年で20年目を迎える。（平成23年度は、6月と10月に3・4年生が授業終了後に駅に向き、駅前広場・駅舎内・トイレ等を分担し清掃を行った。） 全校児童が緑の少年少女隊に所属し、県の緑化祭りなどの行事に積極的に参加するとともに、児童会活動ともタイアップするなかで6月と11月に通学路を中心にゴミ・空き缶ひろい等による地域の清掃活動も行っている。 また、地区育成会・PTAの方々の指導による駅周辺の清掃活動や花の苗の植え付けなどの地域美化活動も、地域住民と協力して行っている。 さらに、平成20年度から、ペットボトルキャップを回収し、児童生徒連絡協議会を通じて「世界の子どもにワクチンを贈る」活動を行うとともに、緑の少年少女隊の活動の一環として菱山地区の方々と協力して、火事で焼失した山林等を中心に植樹活動を行っている。（約200本のヒノキの苗木を植樹するとともに、植樹した場所の下草刈りなどを行った。） こうした活動により児童は自分たちの住む郷土に誇りを持ち、この地域に生息する動植物等に対する興味関心が高く、環境保全に対する意識も高い。
山梨県	向原さくらを育てる会 むかいばらさくらをそだてるかい 代表 梶原富男	対象活動 山林保護・桜の植樹活動等 従事年数 12年 年間活動日 約30日 活動範囲 堂尾山公園周辺	長年にわたり、山に囲まれた豊かな自然と富士山の眺望を満喫できる向原地区の特性を活かし、山林保護や桜の植樹活動に積極的に取り組んでいる。 平成12年に会を発足してから、以来、堂尾山公園周辺に桜の植樹を行うとともに、夏には下刈り、秋には枝打ち等を継続して行っている。 また、県内外から多くのハイカーが訪れる堂尾山公園や遊歩道に案内板を設置し維持管理を行う活動や公園や遊歩道の整備も行っており、地域の環境保全に貢献している。 現在までに、約180本の桜の木を植樹し、堂尾山公園からの景色が富士見百景（国土交通省関東地方整備局）に選定されている。
長野県	清水溝渠・地蔵川をきれいにする会 しみずこうきょ・じぞうがわをきれいにするかい 会長 丸山 祐弘	対象活動 河川の浄化活動 従事年数 40年7ヶ月 年間活動日 年2回（6月第3日曜日・10月第3日曜日） 活動範囲 2河川流域	清水溝渠・地蔵川の2河川は、上流の薄川を源流に、東から西へおよそ2km経て、1級河川の女鳥羽川に流れ込む普通河川であります。 昭和46年10月に「清水溝渠・地蔵川をきれいにする会」を結成し、以来継続して流域住民が年2回（春・秋）の河川清掃等の活動に取り組むなど地域の快適な環境づくりに尽力されています。 また、平成23年度には、薄川の取入口や水路の分岐点となる水門を現地確認する研修会を企画するなど、地域の農業用水や水防について学び、河川愛護意識の高揚に努めています。

地域環境美化功績者功績内容等

県 別	氏名・年齢・住所・職業	活 動 内 容	功 績
静岡県	<p>磐田市花の会 いわたしはなのかい</p> <p>会長 西島くに子</p>	<p>対象活動 市内公共施設内花壇の維持管理、地域花壇の維持管理及び助言・技術指導、市民向け講座の開催、大規模催事における花いっぱい運動の実施、会員の技術向上のための講習会開催及び視察</p> <p>従事年数 55年</p> <p>年間活動日 計6支部にて約週2回活動し、全体として年2回活動している。</p> <p>活動範囲 磐田市内</p>	<p>磐田市花の会は、昭和32年に開催された静岡国体において、磐田市内を花で装飾する花いっぱい運動を実施し、磐田市を来訪する国体出場選手、役員、観客等をもてなしの心で迎えるために設立された。その後も、近年では、高校総体や国体、ワールドカップ日本代表キャンプ、国民文化祭のような、市外からの来訪者が多く見込まれる大規模催事にて、JR磐田駅や会場周辺、街路等の花壇や装飾プランターの植栽デザイン作成から、移植、花ガラ摘み水遣り等管理を行ってきた。この取組により、市内各所の競技会場や街路が花であふれ、来訪者の市に対するイメージアップに大きく貢献した。</p> <p>また、公共施設花壇の管理運営においては、JR磐田駅前の花壇をはじめとして、市施設、大規模公園、街路の花壇を季節感あふれる花で装飾し、市民に憩いと安らぎを与え、心ゆく生活空間を提供すると同時に、清掃作業を行い環境美化にも寄与している。</p> <p>花壇管理の講座開催においては、会員のみならず、一般市民も対象としており、広く緑化思想の普及啓発の機会となっている。季節感を感じさせる花壇の管理、苗の育成等の花壇の実践的な内容から、フラワーアレンジメント、花の寄せ植え等、家庭で活用できる内容まで、多岐にわたり、参加者からも非常に好評を得ている。</p> <p>市町村合併により市区域が大幅に広がった現在においても、旧市町村を単位とする支部制度を導入し、市内全域で偏り無く活動を行っている。常に多くの会員が地道に、かつ、継続的に事業に携わっていることから、地域緑化に欠かせない存在であるのと同時に、他の地域緑化推進団体の模範となっている。</p>
愛知県	<p>安田 和司 やすだ かずし</p> <p>特定非営利活動法人 田原菜の花エコネットワーク理事長</p>	<p>対象活動 菜の花等の栽培管理</p> <p>従事年数 12年</p> <p>年間活動日 約200日</p> <p>活動範囲 市内約50か所のほ場等</p>	<p>平成5年田原市（旧田原町）農業委員に就任。市内で年々増加傾向にあった遊休農地対策として、平成11年に荒廃した2,000㎡の農地に菜の花の作付けを始める。平成12年には、農業委員会土地対策委員会委員長に就任。遊休農地解消モデル地区が設定されると、自ら遊休農地の石拾いや草刈り、トラクターによる耕起を行い、菜の花の栽培面積を拡大した。</p> <p>平成18年4月、発起人として特定非営利活動法人田原菜の花エコネットワークを設立し、副理事長に就任。平成20年からは理事長に就任し、市が推進する「菜の花エコプロジェクト」に中心となって取り組み、景観美化や遊休農地解消に努めている。夏はヒマワリとコスモス、冬は観賞用菜の花と搾油用菜の花を栽培管理。そのうち、搾油用菜の花からは菜種を収穫・搾油し、菜種油「たはらっこ」の生産販売を行っているほか、生き返った農地を担い手農家へ引き渡している。これまでに特定非営利活動法人田原菜の花エコネットワークとして引き渡した畑は6.5ha。遊休農地の解消に尽力した。</p> <p>現在、市内の菜の花畑は25.7haに及ぶ。このうち特定非営利活動法人田原菜の花エコネットワークが栽培管理しているのは、8.7haで、観光振興にも大きく貢献している。</p> <p>また、保育園・小学校などでは、菜の花の種まき体験や収穫体験などを行い、環境学習の指導者としても活躍。地元子どもたちからは「エコじい」として親しまれている。菜の花のネットワークは次第に拡大し、日本風景街道事業として「渥美半島菜の花浪漫街道」が登録されるなど、発展的な広がりを見せている。</p> <p>平成22年2月6日、7日に開催した第10回全国菜の花サミットin田原においては、実行委員会副会長（企画運営委員会会長）として活躍した。現在も、特定非営利活動法人田原菜の花エコネットワークの理事長として、約50名の会員をまとめている。</p>
愛知県	<p>中井 康夫 なかい やすお</p>	<p>対象活動 自然観察会、自然保護活動</p> <p>従事年数 34年</p> <p>年間活動日 約90日</p> <p>活動範囲 愛知県内、主に知多半島</p>	<p>昭和60年9月から知多自然観察会会員として自然環境の保護に努めている他、水生生物の専門家として知多市実施の生物モニタリング調査にも協力。市主催の自然観察会、夏休み子ども自然教室、愛知県生物多様性キャラバンセミナーの講師の他、子どもエコクラブサポーターとして、環境学習や啓発活動の推進にも貢献するなど、地域住民への美化思想の啓発に努めている。</p> <p>地域環境保全委員（平成13年4月～現在）として活動している他、地球温暖化防止活動推進員（平成16年1月～平成22年3月）として、地域環境の保全や美化に貢献している。</p>

地域環境美化功績者功績内容等

県 別	氏名・年齢・住所・職業	活 動 内 容		功 績
京都府	<p>まいづるクリーンキャンペーン実行委員会 まいづるクリーンキャンペーンじっごういんかい</p> <p>委員長 松本 泰</p>	<p>対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲</p>	<p>全市一斉清掃活動、環境美化意識の啓発活動</p> <p>15年4ヶ月 8回程度 地域（舞鶴市）全域</p>	<p>まいづるクリーンキャンペーン実行委員会は、全市一斉清掃を市民に呼びかけ、環境美化意識の啓発を行い、散乱ごみのないきれいな住環境を実現することを目的とし、市内全域における環境美化活動・環境啓発活動を積極的に取り組んでいる。</p> <p>○「まいづるクリーンキャンペーン」 「わたしたちのまちを、わたしたちの手できれいにしよう」と、毎年7月「海の日」を中心に、参加者を募集し、市内一斉清掃を実施。平成23年度の「まいづるクリーンキャンペーン2011」では、167組・11、829名が参加し、約20トンのごみを回収。 また、7月をクリーンキャンペーン期間として、美化活動を強化。</p> <p>○環境美化意識の啓発活動 散乱ごみをなくすため、環境美化意識の啓発活動が必要であることから、啓発看板や啓発物品の配布、イベント出展での啓発活動、会報・ポスターの作成・貼附などを実施。</p> <p>以上のように、大変地道な活動を長年にわたって継続されており、また、地域をあげて、老若男女問わず幅広い地域住民の参加を得ていることも特徴的である。近年は、小・中学校にも参加してもらうなど、幅を広げて活動している。</p>
大阪府	<p>狭山池まつり実行委員会 さやまいけまつりじっごういんかい</p> <p>会長 武田 博允</p>	<p>対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲</p>	<p>河川、湖沼、海岸等の浄化活動 公園、道路等の清掃活動</p> <p>11年 年間約13回「クリーンアクション」を実施（毎月第4土曜日及び年1回の狭山池まつり終了後） 狭山池堤の清掃・草刈・流入口のごみ上げなどを実施</p>	<p>・ふるさとの誇りである「狭山池」をいつまでも美しいまま未来へ繋ぐため、狭山池堤の清掃・草刈・流入口のごみ上げなどを行う「クリーンアクション」第1回を平成14年7月27日から実施。以降、毎年年間約13回行い、平成24年4月30日現在で第130回実施した。</p> <p>・流入した木・竹材をチップ化し、樹木の堆肥や保水用として使用する活動を実施している。</p> <p>・国土交通省の「身近な水環境の一斉調査」に計3回参加。</p> <p>・市水道局と協働で月1回の水質検査を平成16年から実施している。</p> <p>・植物の水生栽培や二枚貝の育成による水質浄化実験活動を行っている。</p> <p>【表彰歴】</p> <p>・平成19年度 おおさか環境賞 府民活動部門奨励賞を受賞 ・平成23年11月 大阪狭山市功労者表彰・自治功労の部を受賞</p> <p>(参考) 団体ホームページ http://www.mydoo.net/ikematuri/clean-action.html</p>

地域環境美化功績者功績内容等

県 別	氏名・年齢・住所・職業	活 動 内 容		功 績
兵庫県	<p>倉田 良文 くらはた よしふみ</p> <p>川西市環境衛生推進協議会会長 兵庫県保健衛生組織連合会副会長</p>	<p>対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲</p>	<p>地域環境美化活動 15年 70日 川西市域</p>	<p>昭和48年4月に川西市防犯協会役員に就任以来、平成13年4月からパルティ自治会長、平成15年4月から川西市民生委員、平成18年4月から川西市福祉委員、平成23年10月から川西市廃棄物減量等推進審議会委員として地域のために尽力している。</p> <p>パルティ自治会・川西市環境衛生推進協議会中央支部は、川西市の玄関口である阪急電鉄川西能勢口駅周辺部にあり、昭和50年代から始まった駅周辺の再開発事業により、街並みが大きく変貌してきた。こうした中、自治会長並びに中央支部長として地域の防犯・清掃・ゴミ処理・資源ごみの回収など、地元のリーダーとして卓越した指導力を発揮している。</p> <p>また、平成9年5月より川西市環境衛生推進協議会幹事（中央支部長）に就任以来、平成14年4月から副会長、平成16年4月から会長として現在まで、市内14支部の生活・環境の向上に様々な方面から取り組みを進めている。さらに、平成21年5月から兵庫県保健衛生組織連合会副会長として、県下の環境・衛生問題についても貢献している。</p> <p>このように、地域の生活環境の向上、人材育成など幅広い分野に渡り、継続的且つ献身的に行われてきた活動の功績は、誠に顕著である。</p> <p>【川西市環境衛生推進協議会の活動内容】</p> <p>①毎年2回（春・秋）のクリーンアップ作戦においてキャンペーンを実施 ②環境衛生推進大会を開催し、環境衛生美化活動に貢献されている団体及び個人に対する感謝状の贈呈 ③空き宅地の雑草除去の適正な管理指導 ④モデル地区の育成として、環境推進美化モデル地区及び不法投棄防止活動推進地区を指定し、地域環境美化の実践と推進に努めている。 ⑤啓発パネルを作成し、各地区の適所及び公共施設等に設置し、ペットの飼育マナーや環境美化の意識啓発に努めている。</p>
兵庫県	<p>滝井 浩志 たきい こうじ</p> <p>相生市佐方連合自治会長</p>	<p>対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲</p>	<p>佐方地域の環境美化、保健衛生活動 22年 約150日 相生市佐方地域</p>	<p>昭和52年度から60年度までの間に地元自治会副会長を2期、平成6年度より平成21年度まで地域の連合自治会副会長、平成22年度からは連合自治会長を務め、その間平成13年から平成21年度まで赤支部理事となり、環境美化運動等長きにわたり地域住民のリーダーとして熱心に取り組み環境衛生事業に多大に貢献している。</p> <p>1 河川、道路等の清掃の実施 2 衛生害虫駆除運動の推進 3 健康教育への参加の推進及び各種健康診査、検診の受検啓発活動 4 衛生協力組織の拡大強化と育成</p>

地域環境美化功績者功績内容等

県 別	氏名・年齢・住所・職業	活 動 内 容		功 績
兵庫県	西岡小林住宅自治会 にしおかこばやしじゅうたくじちかい 会長 千速 正直	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	地域の環境美化活動・清掃作業 39年1カ月 延べ180日 西岡小林住宅内及び瀬戸川周辺	町内一斉清掃(4回/年) 小林住宅町内の清掃を実施。公園・道路と町内にある用水路の一斉清掃を実施。明るく安心して生活できる住みよい街づくりを目指している。 資源回収(毎月第3日曜) 資源ごみの回収を実施。古新聞・雑誌・段ボール・牛乳パック・布類・瓶・アルミ缶・スチール缶に分別収集し、リサイクルに努めている。 瀬戸川の清掃(4回/年) 自治会員を3分割にして、一斉清掃の日に行っている。主に川の中の清掃・土手や道路の清掃を実施。川の水も澄んで鯉の姿も見られるようになった。 ごみの回収(毎週) 3日/週の市の回収日には、ごみ減量協力員が中心となって分別の指導強化に努め、資源化に努めている。回収後は置場の消毒・清掃の実施。 社会奉仕活動(2回/年) 近隣地域にある住吉神社境内の清掃を高年クラブ主体に4月28日と12月第2日曜に行っている。ボランティア活動は約15年前から20~25人で参加。
兵庫県	上西二見高年クラブ 寿楽会 かみにしふたみこうねんくらぶ じゅらくかい 会長 穂原 信一	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	地域の環境美化活動・保健衛生・清掃作業 42年間 ほぼ300日 明石市上西自治会	① 環境美化活動の一環として、ほぼ毎日20人程のクラブ員が集い花壇づくりをするとともに、公園・集会所・家庭に花を届けるなどして、地域の様々な方々との連携も深めている。花でいっぱいになった公園等は、地域住民の和みの場として役割を果たし、訪れた方々にも目を楽しませている。 また、花壇の手入れ等に力を注いだ成果として、平成22年から2年連続、花壇コンクールで受賞するなど、花と緑に包まれた美しい地域づくりに貢献している。 ② 長年にわたり2つの公園を中心に毎月1回の清掃を行い、道路のごみ拾い運動を推進し、地域の環境美化の向上に貢献している。

地域環境美化功績者功績内容等

県 別	氏名・年齢・住所・職業	活 動 内 容		功 績
奈良県	増田 盛男 ますだ もりお	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	公園の清掃活動 21年（平成3年7月～） 平成3年7月～平成23年12月 週3回程度、平成24年1月～現在 ほぼ毎日 郡山城趾の一面を成す西公園と鰻堀、鷺池の一帯	郡山城趾の一面を成す西公園と鰻堀、鷺池の落ち葉やゴミ拾いといった清掃活動を、平成3年から現在に至るまで21年間の長期にわたり継続されている。 通行者に危険と思われる折れた木や倒木の処置、グラウンドと池をつなぐ水路の確保、また、夜間には、公園で遊んでいる少年などに声を掛けるなど、地域住民からも感謝されている。 こういった日々の活動の功績が認められ、平成16年11月には大和郡山市長表彰（善行者表彰）を、平成22年3月には奈良県知事表彰（クリーン・グリーン実践者表彰）を受賞された。 現在は、本年1月に退職されてから、朝夕（午前10時～11時、午後7時～10時）長時間にわたり活動されており、一層の、地域の環境美化に貢献されている。 上記の状況から、増田氏の活動は地域環境の美化に関し特に顕著な功績があると判断するものである。
和歌山県	和歌山県立貴志川高等学校 わかやまけんりつきしがわこうとうがっこう 校長 楠見 隆功	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	貴志川クリーン作戦、エコキャップ活動 貴志川クリーン作戦：7年、エコキャップ活動：4年 貴志川クリーン作戦：6月以降月1回、エコキャップ活動：6月～2月 貴志川クリーン作戦：通学路および貴志駅・生涯学習センター周辺、エコキャップ活動：主に貴志川町内	「貴志川クリーン作戦」 平成17年度に生徒・教職員合同のエコスクール委員会を立ち上げ、学校と地域に役立つ気軽にできる活動を検討、「貴志川クリーン作戦」として、地域の清掃活動をを展開し、以来継続して取り組んでいる。始めは教員主導の取組であったが、徐々に生徒会中心の自主活動として組織的に発展し、毎回100名～200名の生徒が参加し、いきいきと自信をもって活動している。 「エコキャップ活動」 平成20年度から生徒会を中心に校内のゴミ収集と分別を実施、ペットボトルの洗浄とともに、キャップを収集し、発展途上国のポリオワクチンに還元をしている。 ソロプチミスト紀ノ川和歌山からの援助により、キャップ収集ボックスを購入し、近隣のスーパー等にも設置、回収を実施しているが、個人的に学校まで届けてくれる地域住民の方もたくさんおられる。 上記のような活動に加え、エネルギー環境学習と結びつけることで、地球環境を考えて行動できる人材づくりに取り組んでいる。 過去の表彰歴は以下の通り 「県立学校エコスクール優秀校」 平成15・17・18・19年度 「県立学校エコスクール特別校」 平成20年度 「わかやま環境大賞」 平成21年6月 「キワニス賞奨励賞」 平成21年8月
岡山県	黒井 正風 くろい せいふう 瀬戸内市環境衛生協議会副会長	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	クリーン作戦・不法投棄パトロール 等 42年 通年 瀬戸内市全域	昭和45年4月に邑久町環境衛生協議会委員に就任して以来、長年にわたり町道や地域の公園の清掃活動を継続して行うなど、地域における環境美化の普及・清掃活動に率先して取り組むとともに、平成元年以降、ごみの分別収集を徹底させるべく住民への指導的役割を果たすなど、地域住民のごみ分別意識の向上に大いに寄与している。 また、現在は瀬戸内市邑久支部環境衛生協議会会長、瀬戸内市環境衛生協議会副会長に就任しており、市民をあげてのクリーン作戦や不法投棄パトロール等を率先して行うなどリーダーシップを発揮し、協議会役員や会員のみならず、地域住民の模範となる活動を続けている。 その活動は、旧町段階から新市合併を経た現在に至るまで続いており、活動範囲が旧町エリアにとどまることなく合併後の市域全体へ広がることにより、市域全体の環境保全の推進に大いに貢献しており、その功績は大きい。

地域環境美化功績者功績内容等

県 別	氏名・年齢・住所・職業	活 動 内 容		功 績
山口県	<p>永尾 遼 ながお ゆづる</p> <p>下関市快適環境づくり推進協議会 会長</p>	<p>対象活動</p> <p>従事年数</p> <p>年間活動日</p> <p>活動範囲</p>	<p>河川、湖沼、海岸等の浄化活動 緑化、浄化、清掃その他の美化思想の普及啓発活動 その他地域環境美化に関する活動</p> <p>自宅周辺自治会～市内全域</p> <p>約180日</p> <p>自宅周辺自治会～市内全域</p>	<p>昭和57年4月に自治会長に就任して以来、地区の生活環境改善及び美化活動に積極的に推進されている。当該自治会のある吉見地区は、外洋に面した長い海岸線を有しており、長年不法投棄物や漂着ごみに悩まされてきたが、クリーン作戦と銘打った実践活動を展開して、これらの問題解決に取り組まれてきた。</p> <p>河川海岸清掃をはじめとする衛生思想の普及や健康づくりを推進して下関市を快適なまちにすることを目的とする任意団体、「下関市快適環境づくり推進協議会」の理事に平成9年に就任、続いて平成13年に運営委員に就任され、総会の議長を度々務めるなどリーダーシップを発揮された。平成18年の副会長就任後には、本市の合併にあわせ同協議会の活動を合併後の全市に広げることに多大な尽力をされ、協議会の発展とその事業を推進、もって本市の衛生思想普及に多大な貢献をされた。</p> <p>平成20年には同協議会の会長に就任。市内各地域の指導者を清掃や健康づくり等の分野の先進事例に触れさせる研修を通じてリーダーの育成を進めつつ、県内他地域の清掃活動従事者との連携を推し進めている。</p> <p>これらの活動を通じて、本市の環境衛生の向上および美化思想の普及啓発に多大な貢献をされており、その功績は誠に顕著である。</p>
徳島県	<p>社団法人 徳島県産業廃棄物処理協会 青年部会</p> <p>しゃだんほうじんとくしまけんさんぎょうはい きぶつしよりきょうかいせいねんぶかい</p> <p>会長 東條智之</p>	<p>対象活動</p> <p>従事年数</p> <p>年間活動日</p> <p>活動範囲</p>	<p>不法投棄物撤去等の環境美化活動</p> <p>14年</p> <p>随時</p> <p>徳島県内全域</p>	<p>社団法人徳島県産業廃棄物処理協会青年部会は社団法人徳島県産業廃棄物処理協会の下部団体として50歳以下の会員企業の有志が不法投棄撲滅や環境美化推進などの社会貢献活動を独自事業として積極的に取り組んでいる。</p> <p>とりわけ不法投棄の撤去活動については積極的に取り組んでおり、県や市町村及び関係団体と連携した「とくしま”トクトク”事業」や、本県協会が四国4県の産業廃棄物協会に働きかけて四国4県協会の統一事業とした「四国八十八ヶ所遍路道清掃活動事業」などは毎年の恒例事業となっている。</p> <p>またその一方で、当該青年部が中心となってCO2削減を始めとした環境負荷低減に向けた意識啓発を会員企業に働きかけるなど本県の環境美化に多大な貢献を果たしている。</p>

地域環境美化功績者功績内容等

県 別	氏名・年齢・住所・職業	活 動 内 容		功 績
愛媛県	浮島自治会 うきしまじちかい 自治会長 岡部 弘光	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	海岸、道路、神社、雨水上下水路等、公共施設の清掃美化活動 17年（平成7年から現在） 109日（平成23年度） 地域の海岸、道路、公園等	17年間にわたり、自治会が一丸となって地区の財産である浮島海岸、八幡神社を守るため清掃活動を実施し、また地域の生活環境保全のため、地区内水路や広場などの清掃活動を実施するなど、年間通して環境美化の推進に積極的に取り組んでいる。 1 浮島海岸の清掃活動 砂浜に打ち上げられたびん、缶、ペットボトル、発泡スチロールその他の大量のごみの分別回収や流木の収集、切断処理及び除草などの清掃活動を実施している。 2 海岸沿い道路のごみ拾い、除草等の清掃活動 3 八幡神社の境内及び周辺道路の清掃活動 4 雨水排水路、遊水路のごみ、雑草の回収及び清掃 5 広場、公園のごみ拾い及び除草、清掃 6 市民一斉清掃に参加 7 環境パトロール 浮島海岸、八幡神社ほか全治区内をパトロール 8 市のまち美化キャンペーンに参加 9 ごみステーションの管理、清掃、ごみ分別・回収
愛媛県	日浦緑の少年団 ひうらみどりのしょうねんだん 団長 玉井 公一郎	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	緑化、浄化、清掃その他の美化思想の普及啓発活動 31年（昭和56年3月から現在） 年間96日 内訳：①ヒメユリの保護活動30日 ②ホタルの保護・繁殖活動30日 ③地域清掃活動等6日 ④炭焼きづくり活動30日 松山市日浦中学校周辺	昭和56年3月の団体発足以来、自然保護思想に基づき各種環境美化活動を展開。これらの活動が評価され、平成14年度は「生活環境づくり活動功労者知事表彰」をはじめとする、多数の表彰を受賞しており、その活動は地域で高く評価されている。 ①ヒメユリの自生地における下草刈り等の浄化活動を実施するとともに、校内でもヒメユリを栽培。栽培したヒメユリを自生地に移植する保護活動を実施。 ②ホタルの成虫を捕獲し、校内のホタル小屋で産卵・孵化させ、飼育の後に幼虫を川に戻し、河川清掃を行うホタルの保護・繁殖を実施。 ③月1回日浦中学校周辺地域の清掃活動を全団員で実施するとともに、愛媛大学の留学生と協働し、地域に桜等の苗木を植樹する美化活動も行っている。 ④学校林から切り出したクヌギで炭焼きを行い、作った炭や木酢液を例年10月松山市大街道で開催される「みんなの生活展」で配布する美化思想の普及啓発活動を実施している。

地域環境美化功績者功績内容等

県別	氏名・年齢・住所・職業	活動内容	功績
長崎県	古賀島西町内会 こがしまにしちょうないかい 会長 脇崎 誠	対象活動 町内全域の環境美化、大村飛行場沿線道路の草刈・清掃等に努められている。 従事年数 24年（昭和63年3月～現在） 年間活動日 24日（月1回×12月＝12回 随時12回） 活動範囲 古賀島西町内会	本団体は、海上自衛隊大村航空隊が使用している大村飛行場（旧第21海軍航空廠）に隣接しており、沿線道路周辺が、長距離ドライバー、営業車の仮眠・休養場所となっており、コンビニの弁当ガラ、空きかん、ペットボトル等が散乱している状況であり、町内会でごみ拾い・回収を実施されています。 また、ヘリコプターの離発着を見物する客が放置する飲食物等のごみが多く、ヘリコプターの風圧でごみが舞い上がることも見受けられ、必要に応じて月1回以上ごみ拾い等を実施されています。 さらに、地区の子ども会と交流を図られており、年2回、市民の憩いの場となっている森園公園の清掃を子ども会と一緒に実施され、子どもたちに地域の環境美化について継承されています。
長崎県	三城第一町内会 さんじょうだいいちちょうないかい 会長 江口 勝彦	対象活動 町内全域の環境美化、公園・川周辺の草刈・清掃等に努められている。 従事年数 11年（平成13年4月～現在） 年間活動日 24日（月1回×12月＝12回 随時12回） 活動範囲 三城第一町内会	本団体は、大村市の玄関口であるJR大村駅周辺の清掃・空きかん・ペットボトル等の回収、ごみ拾い、駅前公園の除草・落ち葉の清掃等を実施されています。 町内にある三城小学校の運動会、入学式、卒業式等に招待され、児童との交流もあり、小学校周辺の道路清掃・落ち葉拾い等を実施されています。 また、地区の北部にある大上戸川周辺の草刈り、川に不法投棄されている空きかん、ペットボトルの回収、ごみ拾い、清掃・つつじ植栽帯・遊歩道の除草等を月1回以上実施されており、地域の環境美化に努められています。
熊本県	特定非営利活動法人 災害通信ネットワーク えぬびーおーほうじん さいがいつうしんねつとわーく 代表 橋柿 正與	対象活動 県内水源地等周辺の清掃活動。森緑化整備事業・植林・下草刈り。県内の不法投棄監視活動。 従事年数 22年 年間活動日 毎日 活動範囲 熊本県全域	【概要】アマチュア無線愛好家で組織し、野生動植物保護活動、県内水源地等周辺の清掃活動、森緑化整備事業・植林・下草刈り、県内の不法投棄監視活動等を行っている。 【活動期間】平成3年1月～継続中（現在22年目） 【主な活動】 ・毎年、会員が自家用車で全市町村を巡回し、不法に投棄された家庭ゴミや大型ゴミの発見に努めている。 ・熊本県内水源地等の周辺清掃活動の実施 ・大津町住民の森緑化整備事業、植林、下草狩りの実施（大津町民の森） ・阿蘇市と協定を結び内牧「水源の森」植林を行う。 ・宇城市立三角小学校とともに「みんなの森」植林を行う。 ・熊本県廃棄物対策課、熊本県警の支援を受け県内不法投棄監視継続中・役員会を毎月実施し、翌月の活動を役員会で取り決めている。 ・不法投棄に関しては、夜間の活動を重点的に行っており互いの連絡をアマチュア無線にて行っている。 ・活動することで抑止力を発揮し、地域住民へアピールすることで活動への参加を促す。 【活動の効果】 ・周辺の自治体が活動を開始し、特に、阿蘇方面の環境保全活動が活発化した。 ・山中への不法投棄が横行した際、巡回することによって、投棄する者が減少した。 ・4WDによる森林破壊をテレビの密着取材で放映され、沈静化した。 ・海洋汚染防止等について、釣り客のマナーが向上した。 【今後の継続性】 ・今後とも環境整備を行い、動植物の保護及び自然環境の維持を行っていく。 ・県内山間部、水源地、湧水地、海岸線釣り場を中心に、地域住民に声を掛け合って、自然環境の維持を呼びかける。
大分県	柳井 忠臣 やない ただおみ	対象活動 市内の道路のゴミ拾いや、番匠川の清掃活動を行っている。 従事年数 33年 年間活動日 毎月20日程度 活動範囲 市内の道路のゴミ拾い、番匠川の清掃活動を実施、日豊海岸環境保全巡視	本匠地域で最高峰の「佩楯山」の環境悪化が懸念されていた昭和53年頃、氏が主宰する登山愛好会で森林清掃活動を提唱以後、一般登山者にも森林の環境悪化等呼びかけるため、昭和63年から実に14年の長きにわたり環境保護や健康保持を目的としたイベントを実施した。このイベントをきっかけに平成12年から5年間「源流の里づくり」と銘打ってサクラ等広葉樹林植栽事業が佩楯山で実施されることとなった。 また、平成13年には「源流の郷ウオーキングクラブ」を結成し、地域美化・自然環境の保全を目標に定期的に市内の道路に散乱する空き缶等のゴミを回収している。更には、清流番匠川を守るため「番匠川クリーン大作戦」を提唱し、河川内及び市内道路のゴミ拾いは氏の日課になっている。 この様に環境美化に対する意識の啓発・実践を個人及び団体を通じて日常的に行っている。氏のこうした地道な活動が波紋となって、「清流番匠川を守る」運動や地域の環境美化への様々な取組が展開されるまでとなった。 このような活動は、地域の環境美化に多大な貢献をしており、その功績は顕著である。

地域環境美化功績者功績内容等

県 別	氏名・年齢・住所・職業	活 動 内 容		功 績
宮崎県	長園自治公民館 ながそのじちこうみんかん 館長 横山 透	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	地区内の畑へのひまわりやコスモスの植栽、公園へのサクラやツツジの植栽活動 平成5年～（通算年数19年間） 5回/年 西都市長園地区	・活動内容 地区内の畑（地域住民の無償貸付分含む）1万平方メートルに、夏はひまわり、秋はコスモスを植栽し、地域の環境美化に努めている。 また、地区内にある鉢先公園斜面には、サクラ・ツツジ・ツバキ・クチナシ・フヨウなどを植栽し、緑化にも努めている。 ・活動地域の範囲 長園地域 ・地域への貢献 地域の美化や緑化への貢献のみならず、他の公民館等の模範となる活動である。 今後も同活動を継続していく。
川崎市	中島 廣治 なかじま ひろじ 砂子2丁目町内会会長	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	清掃 平成元年4月から23年間 年50回 砂子2丁目町内会、砂子周辺商店街	平成元年4月から川崎砂子会協同組合（商店街組合）の理事長として、旧東海道宿場町の伝統が根づく砂子どり商店街を中心に清掃活動を定期的実施。また平成8年4月から平成16年3月にかけて、川崎市美化運動実施。 川崎支部中央地区理事として、「市内統一美化活動」や、「美化講習会」を企画、運営する等、地域全体の美化運動推進に尽力してきた。平成16年4月に川崎砂子協同組合理事長を退任後は、同組合の相談役理事として後進の育成に携わる一方で、砂子2丁目町内会の会長に就任。長年における経験と豊富な知識を活かして、卓越した指導力を発揮し、現在も地域の美化環境の向上に取り組んでいる。その献身的な姿勢と温厚で誠実な人柄は、地域住民から高い評価と信頼を得ている。
川崎市	齋藤 公子 さいとう きみこ 66歳 川崎市美化運動実施宮前支部 副支部長	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	地域環境の美化啓発・清掃活動 平成12年から12年間 年30日 宮前区内の公園・沿線道路・ポイ捨て禁止重点区域・多摩川等	平成12年より川崎市美化運動実施宮前支部において美化推進委員として委嘱され、平成14年より8年にわたり支部会計監査を務め、平成22年より現在まで支部副支部長を務めている。 これまで12年にわたり活動してきた経験を活かして、多摩川美化活動や市内統一美化活動、宮前区民祭における花いっぱい運動の実施など、各種事業において運営に携わり、中心となって精力的に活動を行っている。 本支部での活動にとどまらず、地域からの信頼も厚く、地域における環境美化の維持向上に多大な貢献を行っている。 ●主な活動内容 清掃活動、植栽・草花の配布、環境美化活動 ●活動従事年数 平成12年～現在（通算12年） ●年間活動日数 約30日 ●活動地域 宮前区内の公園・沿線道路・ポイ捨て禁止重点区域・多摩川等
川崎市	大ヶ谷戸東町町内会 おおがやとひがしちょうちょうないかい 会長 原 国男	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	公園・道路の清掃、違法路上広告物の撤去、河川等の美化活動、緑化推進活動、美化思想の普及啓発活動 44年（昭和43年4月から本格的に活動） 約60日 大ヶ谷戸東町町内会を中心に、大戸地区及び中原区全域	昭和43年頃から積極的に近隣住民と協力し、町内会内にある上小田中第2公園を中心に清掃活動を行っている。町内会を9組に分け、それに子ども会、婦人部、老人会の3つのグループを加えた12の組に分けて、毎月交代で町内会をあげて公園清掃に取り組む手法は、日常から町内会全体に美化意識が高く浸透していることをうかがわせる。 また、月に2回行う町内会の見回り（環境美化の視点を伴った見回り）や、3か月に1回に行われる不法投棄対策の見回り、必要に応じて行われる違反広告物の撤去作業等、長年にわたり取り組みが行われている。 その他、市内統一で行われる「多摩川美化活動」及び「市内統一美化活動」には、町内会役員が積極的に参加し、婦人部や老人会・子ども会等に広く呼びかけ、参加者の拡大にも積極的である。 さらに、川崎市美化運動実施中原支部で実施している「クリーニングなかはらキャンペーン」にも積極的に参加し、区内全域の環境美化にも大きく貢献している。

地域環境美化功績者功績内容等

県 別	氏名・年齢・住所・職業	活 動 内 容		功 績
相模原市	<p>上矢部寿会 かみやべことぶきかい</p> <p>会長 長田 秋人</p>	<p>対象活動 従事年数 年間活動日</p> <p>57年1ヶ月（昭和 30年4月～平成24年4月末現在）</p>	<p>公園、道路等の清掃活動</p> <p>月 1回</p> <p>57年1ヶ月（昭和 30年4月～平成24年4月末現在）</p> <p>活動範囲 神社、子ども広場及びその周辺の清掃と除草活動（相模原市中央区上矢部2丁目）</p>	<p>当、上矢部寿会は、昭和30年に地域の老人会として結成されたが、会員相互の親睦を密にして、人格の向上と福祉の増進を図ることを活動の目的としている。</p> <p>特に、御嶽神社境内や子供広場および周辺道路の清掃と除草活動は、会員の親睦と健康管理を兼ねて、地域の美化推進を図るため、毎月1回を「奉仕の日」と決めて、会の結成以来の長年にわたり積極的に実施しており、地域の美化運動の活性化に多大な貢献をしている。</p> <p>また、ほぼ毎月、懇親会、体操、ゲートボール大会参加などの事業を行い、会員の健康保持と情報交換を活発におこなっている。</p>
相模原市	<p>相模原市立青野原小学校 さがみはらしりつあおのはらしょうがっこう</p> <p>校長 中田 寿章</p>	<p>対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲</p> <p>19年1ヶ月（平成5年4月～平成24年4月末現在） 年 5回以上</p> <p>相模原市緑区青野原地域内の国道、県道沿い等を中心に活動。 不法投棄防護ネットの設置箇所は、不法投棄多発地帯である県道伊勢原津久井線沿い及び国道413号線沿い。</p>	<p>公園、道路等の清掃活動</p>	<p>当、青野原小学校は、明治6年6月24日に設立され、今年で創立139周年である。平成18年には、青野原の拠点としてコミュニティースクールの要素を兼ね備えた、小中学校一体型の校舎が完成し平成20年度から市の教育委員会指定「小中一貫教育」研究校として、「素直で思いやりのある 自分を大切にする 夢のある子」という青野原っ子をめざして、小中教員の共働による授業や9年間を見通した児童生徒指導に取り組んでいる。</p> <p>特に環境美化の功績として、平成23年度まで、学校生活の中で、生徒が苗から育てあげた花を不法投棄多発箇所や地域内の公共施設等に設置し、自然を大切にすることを養うと共に、地域の良好な景観を創り出す美化活動を毎年展開してきた。（花いっぱい運動）</p> <p>さらに、山間部で不法投棄が多発しているという地域課題に対し、平成16年度から不法投棄防護ネットを児童の手作りで作成し、不法投棄の撲滅に向けた活動を実施している。破損した防護ネットの張り替えのため、4年生の「総合的な学習の時間」という授業の中で、不法投棄を阻止しようという願いを込めて、ネットに不法投棄防止を呼びかけるメッセージをひもで編み込む取り組みを行っている。完成後は、地元の青野原環境美化委員会と一緒に設置している。（不法投棄防止ネット作り）</p> <p>以上、子供のうちに行き届いた環境教育が行われることで、節度ある行動が無意識にとれる大人へと成長していくと思われる。</p> <p>本来、全ての大人が率先して、環境美化に対して模範となる行動をとらなければならないが、現状は難しい。そんな中での青野原小学校の取組は、多くの地域住民にも自らが地域の環境を守っていかなければならないという意識を自然と生じさせ、環境美化活動推進に向けた地域住民の良き模範となっている。</p>
名古屋市	<p>戸田川発見隊 とだがわはっけんたい</p> <p>隊長 佐藤 祥浩</p>	<p>対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲</p> <p>戸田川及び近隣の清掃活動や花植え、及び同川の生物調査・水質調査並びにこれらの活動を通じた地域住民との触れ合いや交流など川を生かしたまちづくりに関する活動</p> <p>11年 年間を通じて活動（月1回の全体会のほか、毎日活動している隊員もいる）</p> <p>戸田川流域（中川区、港区）</p>	<p>戸田川及び近隣の清掃活動や花植え、及び同川の生物調査・水質調査並びにこれらの活動を通じた地域住民との触れ合いや交流など川を生かしたまちづくりに関する活動</p>	<p>・結成以来、近隣住民の川への関心を高めるため川に親しんでもらうための様々な活動を行っており、各種行事に多くの参加をいただくにいたっている。</p> <p>・発見隊結成以来の継続的な水質の定点調査により、河川環境の変遷をたどる貴重なデータを蓄積してきた。また、この間に戸田川にポンプ施設が設置され、その前後の環境変化を知る上でも貴重なデータを得ている。</p> <p>・富田公園や中川区役所富田支所などでの花植え、花壇整備により、公園や支所を利用する 人々や通行人等を和ませている。</p> <p>・富田公園での花壇の整備中に、公園利用者（散歩者など）にゴミ拾いを呼びかけるなどして公園の美化に努めている。</p> <p>・日常的な美化活動や戸田川大清掃を通じて住民の美化意識向上にも寄与している。</p>
大阪市	<p>村上 栄 むらかみ さかえ</p>	<p>対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲</p> <p>公園、道路等の清掃活動</p> <p>63年0カ月</p> <p>毎週日曜日</p> <p>大阪市住吉区清水丘1・2丁目地域周辺</p>	<p>公園、道路等の清掃活動</p>	<p>村上 栄氏は、相当のご高齢であるにもかかわらず、地域を愛し、「清潔で美しいまちであって欲しい」という思いから、毎週日曜日に自宅周辺の空き缶・吸い殻・落ち葉などの収集活動の取組みを長年続けています。</p> <p>また美化活動への参加を呼び掛けるなど、地域の方々の美化意識の向上を図り、美化活動の一層の広がりに貢献しています。</p> <p>2011年9月 大阪市長表彰「道路・河川等における保全、美化運動功労者表彰」受賞</p>

地域環境美化功績者功績内容等

県 別	氏名・年齢・住所・職業	活 動 内 容		功 績
大阪市	北江口第七振興町会 きたえぐちだいなしんこうちょうかい 会長 中西 英途	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	公園、道路等の清掃活動 49年 月1～2回 大阪市東淀川区北江口第七振興町会周辺道路など	大阪市地域振興会は、大阪市内各区で新たなコミュニティづくりを担う組織として結成された団体で、地域の活動に協力することを通じて、住みよいまちづくりに努める活動を続けています。 北江口第七振興町会は、大阪市地域振興会の単位振興町会として、構成区域となる東淀川区北江口第七振興町会の周辺道路の清掃活動と周辺地域の環境美化の維持向上に努められています。 環境に関する取り組みとしては、清潔な町・大阪を愛する美しい心を育てることを目的に、毎月1回、清掃の日を定め清掃活動を行う他、年2回緑地帯の剪定、紙バックやアルミ缶の回収やお年寄りへの声かけ運動など様々な活動を行っています。 2011年9月 大阪市長表彰「道路・河川等における保全、美化運動功労者表彰」受賞
広島市	堀江 常夫 ほりえ つねお 戸坂城山社協ボランティア	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	緑地道路等の清掃活動 15年2ヶ月 年間300日以上 戸坂福祉センターより南側220mの県道152号線の両側面及び戸坂南百田団地入口周辺の市道70m	平成9年4月より、地域に役立ちたいとの思いで、県道152号線の戸坂福祉センター前より百田橋近くのコンビニ前まで約220メートルの県道両側面や戸坂南百田団地入口のロータリーを中心とする市道70メートルにわたり、交通量の少ない早朝よりほぼ毎日1時間程度清掃活動を行っている。 また、落葉の激しい秋には、夕方にも落葉取りを行うほか、県道とJR芸備線との法面(市所有)よりはみ出す雑木(視界不良)の刈取りなど、年間300日以上環境美化活動を行っている。 堀江氏の15年余りの地道な活動を見て、手伝う近隣の人たちも増え、地域の環境美化に貢献している。
広島市	仁保柞木町内会皿山地区 にほほうそぎちょうないかいさくらやまちく 代表 新藤 認	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	道路の清掃 約40年 12日 広島県広島市南区仁保四丁目14番から17番内の道路(別紙図面のとおり)	当団体は、比較的都心近郊に位置する南区内にあり、昭和46年頃から約40年にわたり、毎月第3日曜日の午前8時から約1時間、地区内の道路の散乱ゴミの収集や、道路路肩の雑草の除去などの道路清掃活動を行っている。 平成22年度に共用開始された「広島高速2号線」の整備により、当皿山地区の一部が事業用地となり、86世帯から46世帯と減少し「都会の中の過疎化」ともいえる状況となったが、地域の連帯感を失うことなく清掃活動を続け、環境美化に貢献している。 今後も、美しく住みよい街づくりのため、引き続き清掃活動を行っていくこととしている。
福岡市	福岡市立特別支援学校 博多高等学園 ふくおかしりつとくべつしえんがっこう はかたこうとうがくえん 学校長 森 孝一	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	①清掃活動 ②花壇整備 ①7年 ②4年 ①年4～5回 ②年7～12回 ①博多区御供所町、祇園、川端商店街等 ②博多川付近	○主な活動は、学校周辺の道路等の落ち葉かき、ごみ拾いや、博多川遊歩道にある花壇の除草作業、水やり、フラワーボットの整備等、開校以来7年間継続して取り組んでおり、地域からの評価も高い。 ○活動にあたっては、公益社団法人福岡県ビルメンテナンス協会の協力を得て、職業技能者による授業や研修が展開されており、平成20年度から同法人が主催する「クリーンアップ福岡」にも参加している。 ○清掃活動では、お互いに協力して活動すること、歩行者などの迷惑にならないように活動すること、清掃用具等の正しい使い方を身につけることなどを心がけて取り組んでいる。 ○この活動を通して、社会や人のために働く喜びを味わうとともに、生徒が清掃や園芸の仕事に興味を持ち、関連会社に就労するよい機会となっている。